第 12 回
多摩大学 AL 発表祭
レジュメ集

開催日

2020 年 12 月 12 日（土）
午前の部　10:00～12:05
午後の部　14:00～15:40

会　場

多摩大学　多摩キャンパス
・001 教室
・201 教室

TAMA UNIVERSITY
多摩大学

第 12 回 多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭 レジュメ集

目　　次

主催者挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

プログラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

2020 多摩大学 AL 発表祭配置図・・・・・・ 3

会場座席指定表・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

＜午前の部＞

001 教室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

201 教室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

＜午後の部＞

001 教室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

アンケートご協力のお願い・・・・・・・・・ 51

スクールバス・路線バスのご案内・・・・・ 52

多摩大学アクティブ・ラーニングセンター長
金 美徳

開会のあいさつ

初冬の候、皆様ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度はご多用のところを多くの方々にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。多摩大学では開学以来、大学内の机上の学修にとどまらず、学生が地域をはじめとする学外のフィールドに出て自らの手と足を動かして活動し、行政・企業・NPO・地域団体・地域住民などのさまざまな関係主体と連携しながら、課題の発見と解決を目指すゼミ活動を行ってまいりました。

一般的に“学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法”と定義されるアクティブ・ラーニングですが、本学が取り組んできた学習体系はまさにその先鞭をつけるものであったと自負いたしております。本学は、「4 年間ゼミ」を実施しており、ホームゼミは38 ゼミを開講しています。また、寺島実郎学長がご指導されているインターゼミ(社会工学研究会:学生・院生　44 名と教員 14 名)は、12 年目を迎えました。

そして開学以来実践してきたアクティブ・ラーニングをさらに活性化すべく、2016 年には「アクティブ・ラーニングセンター(ALC)」を創設しました。ALC では、 AL の研究・開発とプログラムの推進、 FD (ファカルティ・ディベロップメント: 教員の教育力の開発)、図書・IT・学修サービス、教学マネジメントの推進を行っております。

今年度においても、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、多種多様なプロジェクト、研究、アクティブ・ラーニングプログラムを展開してまいりましたので、その活動成果を共有する機会として、『第 12 回多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭』を開催いたします。

12月12日(土)開催

2020年度　多摩大学AL発表祭　プログラム

※2部制(午前、午後)

※帝塚山大学様、東京経済大学様は、Zoom でご参加いただきます。
※各発表の所要時間は、発表:8分、質疑応答5分、入替および除菌等:2分といたします。
※コロナ対策のため、参加者は学内入構時に検温を行い、原則、教室移動はお控えください。
※今年度は、コロナ対策のため、午前、午後ともに閉会式は行いません。

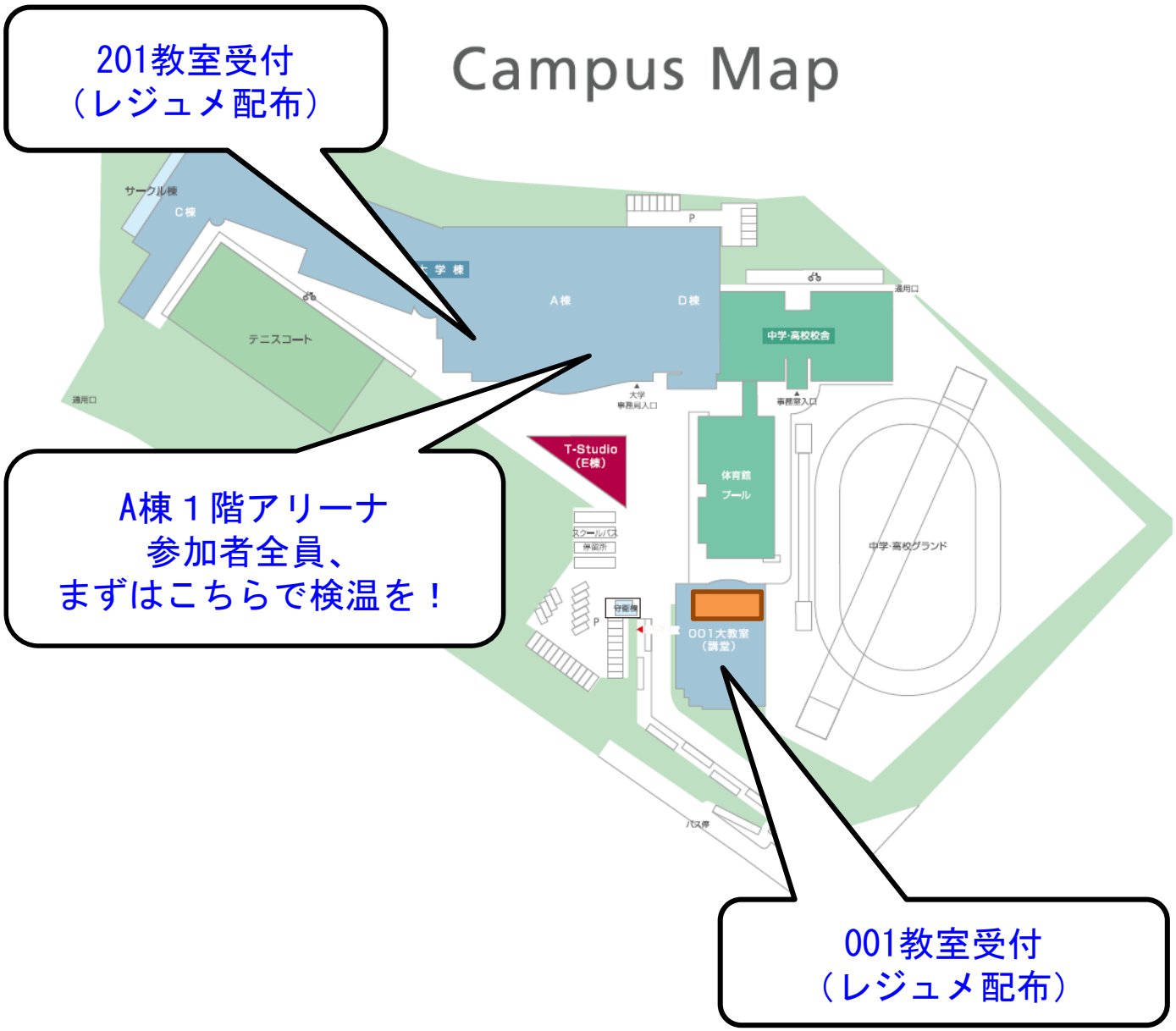
午前の部

会場	001教室(定員:310名)			201教室(定員:127名)		
司会・補佐	司会:中村(そ)　補佐:加藤			司会:高橋　補佐:良峯		
時刻	資料番号	発表タイトル	発表者	資料番号	発表タイトル	発表者
9:00～10:00	検温(アリーナにて)			検温(アリーナにて)		
10:00～10:10	開会式 多摩大学アクティブ・ラーニングセンター長　金　美徳					
10:10～10:25	A-1	言葉の力がつく！世界に一つだけの絵本づくり	帝塚山大学 第23回ダヴィンチマスターズ	B-1	2020年代の日本の「観光立国」を考える―「安定」かつ「高付加価値」産業の構築は可能か―	インターゼミ(サービスエンターテイメント班)
10:25～10:40	A-2	世代間交流八王子駅前サロンプロジェクト2020 – コロナ禍における新たな取り組み(2020年度大学コンソーシアム八王子「学生企画事業補助金」対象事業)	梅澤佳子ゼミ	B-2	拝観券ホルダー「券葉集」開発プロジェクトの成果報告	帝塚山大学 「券葉集」開発プロジェクト
10:40～10:55	A-3	コロナ禍　今私たちにできること	多摩大学目黒中学校・高等学校	B-3	コロナ禍における日本のスポーツ業界の今後の在り方について	バートルゼミ
10:55～11:10	A-4	次世代に届けたい多摩地域の在り方 ―30年後の次世代が住み続けたい多摩地域になるために―	インターゼミ(多摩学班)	B-4	「飛騨高山AL地域観光研究・特産品開発」	飛騨高山ALプログラム
11:10～11:20	休憩(10分)					
11:20～11:35	A-5	東経大・小木ゼミによる企業とのコラボ活動～国分寺物語、TFT、こんなお菓子あったらいいなPJ、知財活用スチューデントアワード2020～	東京経済大学小木ゼミ	B-5	多世代交流 みんなの食卓プロジェクト2020-コロナ禍での課題解決の模索	梅澤佳子ゼミ
11:35～11:50	A-6	観光業におけるニューノーマル模索取り組みの構造－緊急報告－	中庭光彦ゼミ	B-6	IT化する医療～情報セキュリティのあり方～	多摩大学目黒中学校・高等学校
11:50～12:05	A-7	「飛騨高山AL地域観光研究・スキー場の活性化」(Aチーム)	飛騨高山ALプログラム	B-7	夏休み特別企画「高大生のためのオンライン会社見学会」	長島剛ゼミ

午後の部

会場	001教室(定員:310名)		
司会・補佐	司会:初見　補佐:出原		
時刻	資料番号	発表タイトル	発表者
13:00～14:00	検温(アリーナにて)		
14:00～14:10	開会式 多摩大学アクティブ・ラーニングセンター長　金　美徳		
14:10～14:25	C-1	サブスクリプション	多摩大学目黒中学校・高等学校
14:25～14:40	C-2	パンデミックのユーラシア史とポストコロナ	インターゼミ(アジアダイナミズム班)
14:40～14:55	C-3	海外投資から見たアメリカの産業と日本の今後	水盛涼一ゼミ
14:55～15:10	C-4	スポーツにおける価値創造とビジネスへの視点	佐藤文平ゼミ
15:10～15:25	C-5	DXによるこれからの社会変化～イノベーションを軸に～	インターゼミ(DX班)
15:25～15:40	C-6	「飛騨高山AL地域観光研究・スキー場の活性化」(Bチーム)	飛騨高山ALプログラム

第12回　2020年度多摩大学AL発表祭配置図(1/4)

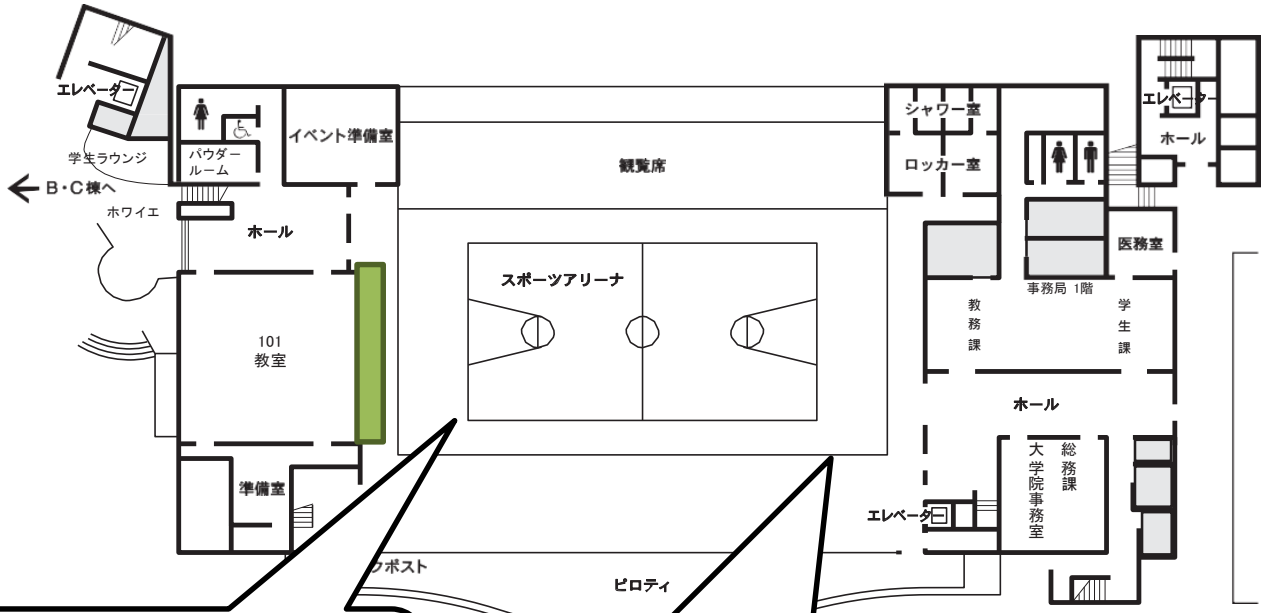


第12回　2020年度多摩大学AL発表祭配置図(2/4)

A・D 棟

1F

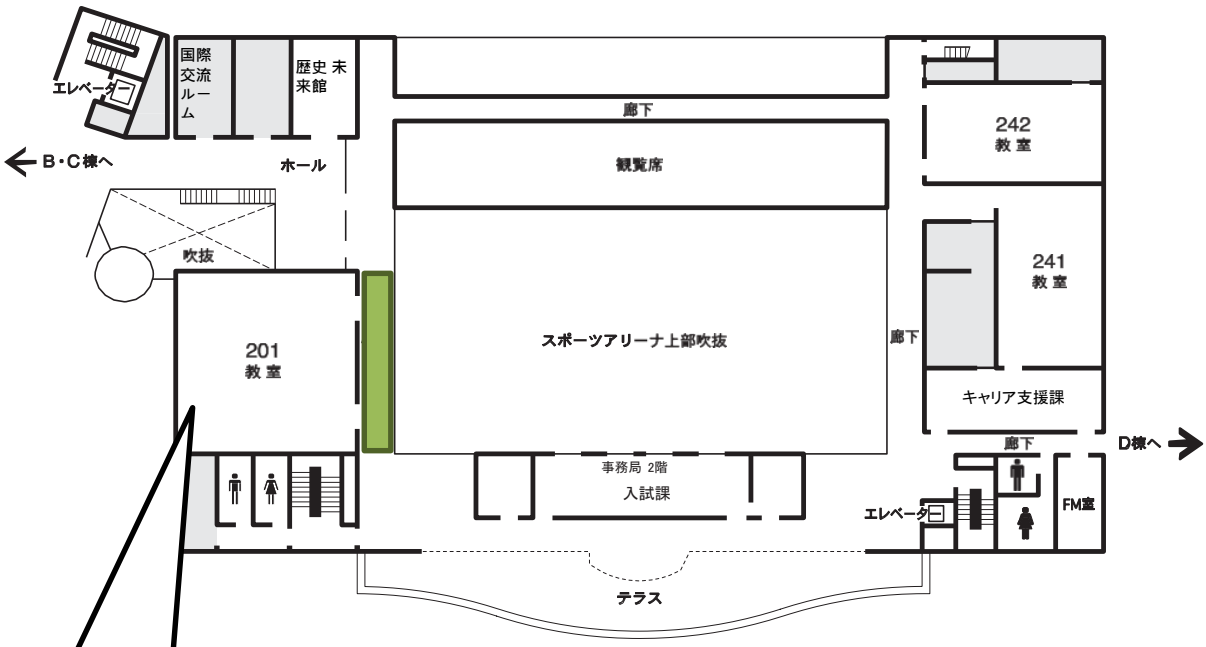
D 棟



【1階】201教室受付
（レジュメ配布）

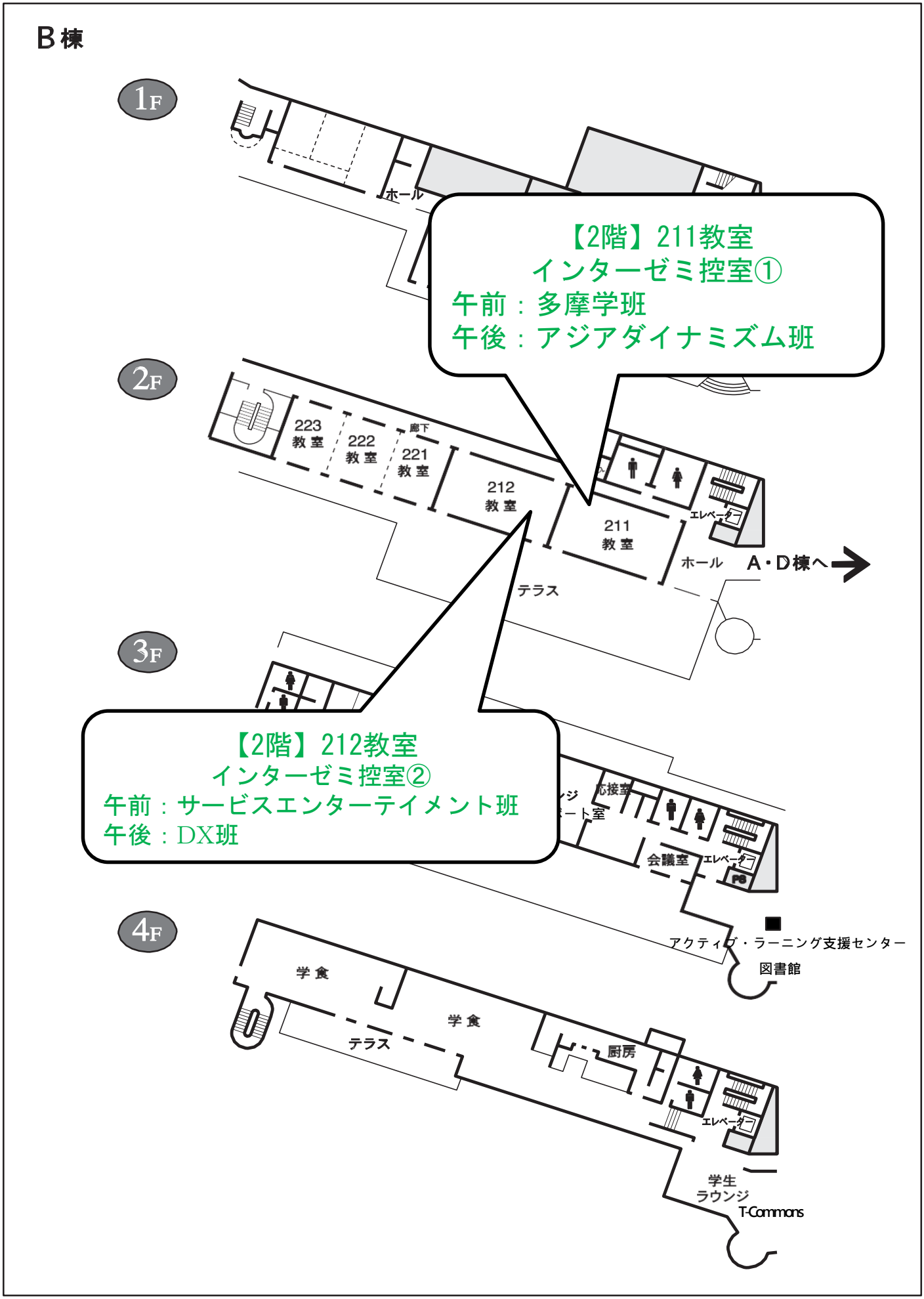
【1階】検温会場
※全参加者とも検温実施後に会場に
ご入場ください。

2F

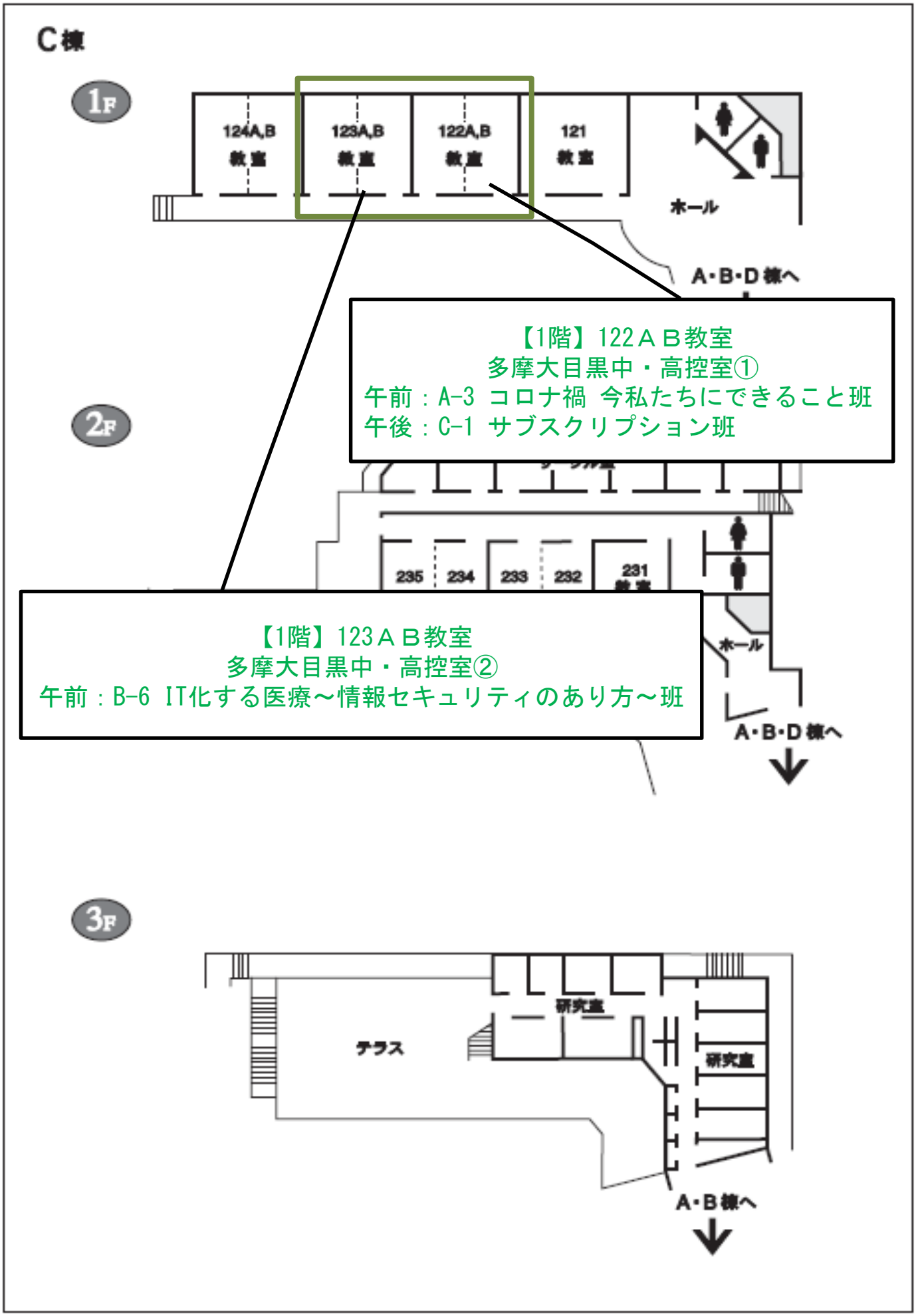


【2階】201教室

第12回　2020年度多摩大学AL発表祭配置図(3/4)

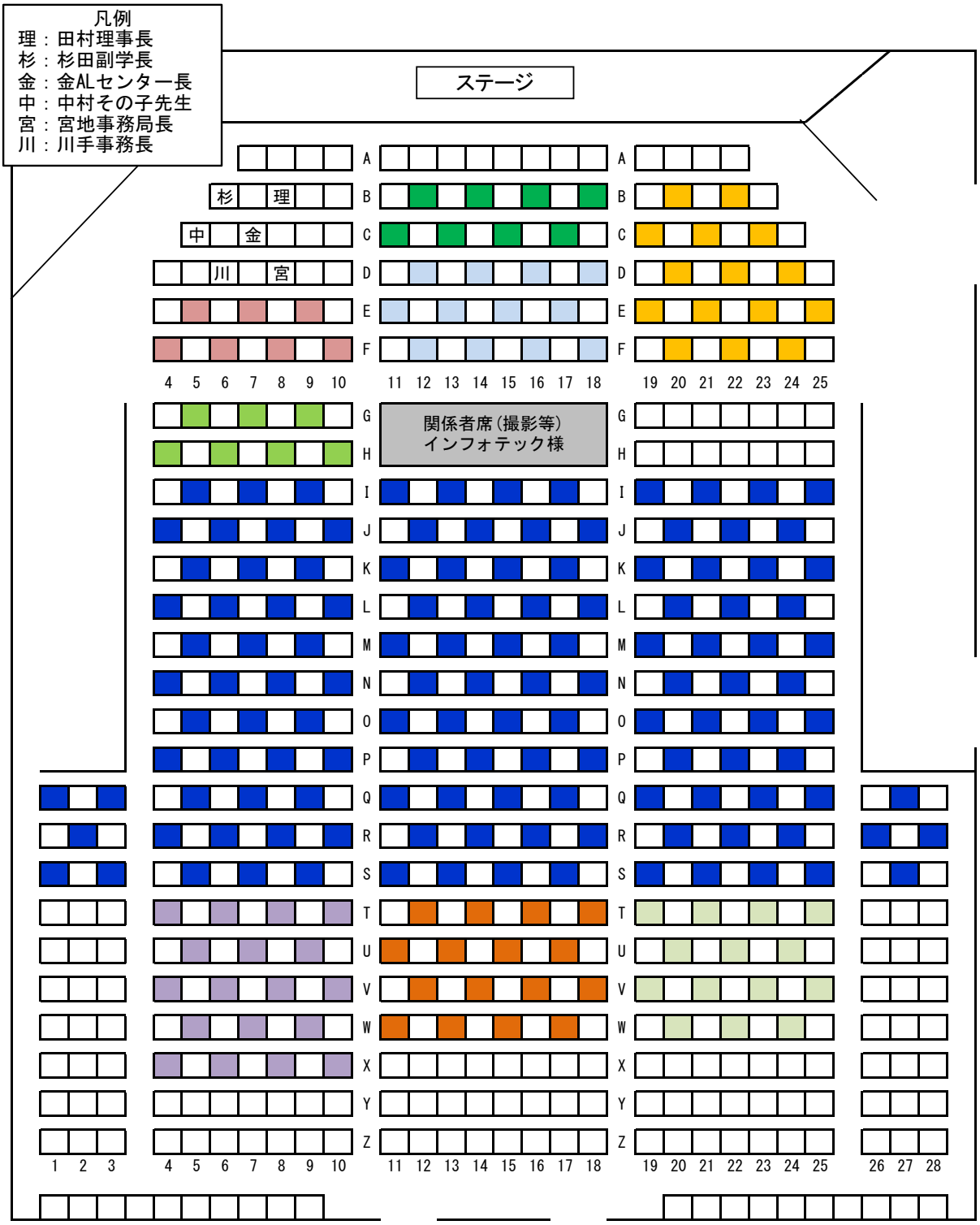


第12回　2020年度多摩大学AL発表祭配置図(4/4)



【午前の部】座席表
多摩大学多摩キャンパス００１教室

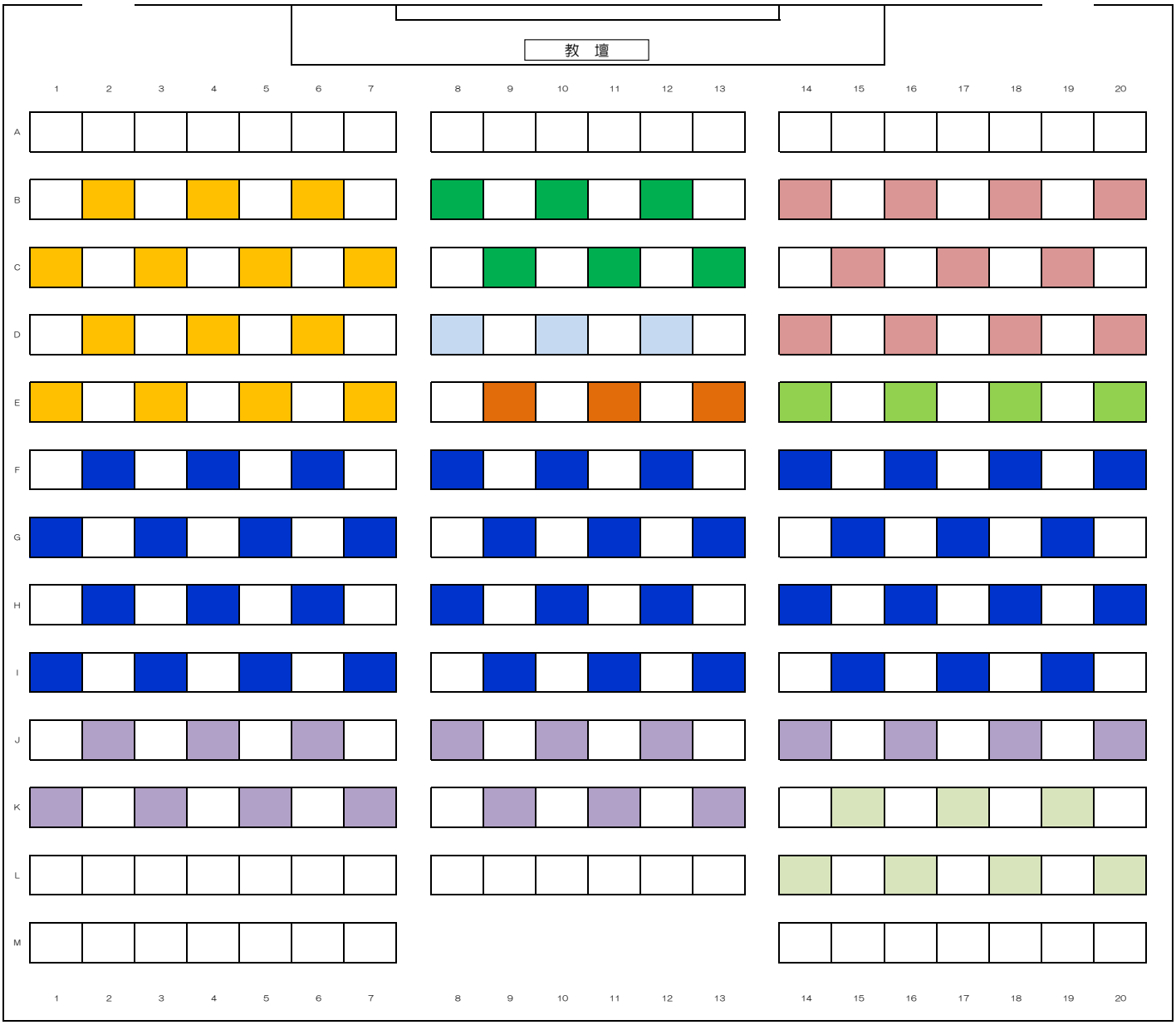
※今年度は、コロナ対策のため教室の移動は控えていただき、
同教室での聴衆をお願いします。



凡例	
	：多摩大学目黒中学・高等学校生徒（130席：3クラス）
	：多摩大学目黒中学・高等学校教員、001教室発表者（15席）
	：インターゼミ（多摩学班）
	：中庭光彦ゼミ
	：梅澤佳子ゼミ
	：飛騨高山ALプログラム
	：小西英行ゼミ
	：中村その子ゼミ
	：水盛涼一ゼミ

【午前の部】座席表
多摩大学多摩キャンパス２０１教室

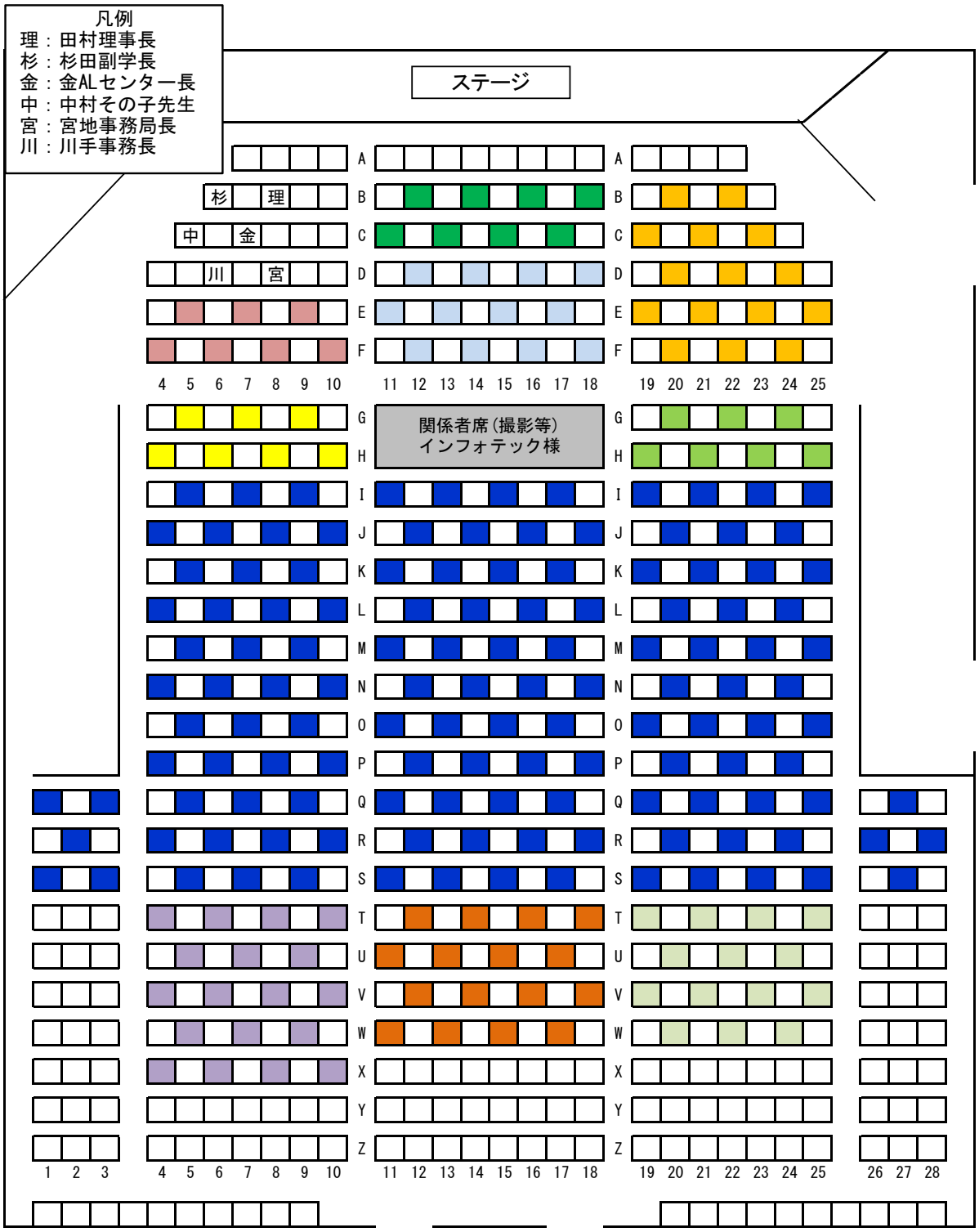
※今年度は、コロナ対策のため教室の移動は控えていただき、
同教室での聴衆をお願いします。



凡例	
	：多摩大学目黒中学・高等学校生徒
	：多摩大学目黒中学・高等学校教員、201教室発表者(4席)
	：インターゼミ(サービスエンターテイメント班)
	：梅澤佳子ゼミ
	：長島剛ゼミ発表者
	：バートルゼミ発表者
	：飛騨高山ALプログラム
	：長島剛ゼミ
	：バートルゼミ

【午後の部】座席表
多摩大学多摩キャンパス００１教室

※今年度は、コロナ対策のため教室の移動は控えていただき、
同教室での聴衆をお願いします。



凡例	
	：多摩大学目黒中学・高等学校生徒（130席：3クラス）
	：多摩大学目黒中学・高等学校教員、001教室発表者（15席）
	：インターゼミ（アジアダイナミズム班）
	：インターゼミ（DX班）
	：水盛涼一ゼミ発表者
	：佐藤文平ゼミ
	：飛騨高山ALプログラム
	：小西英行ゼミ
	：中村その子ゼミ
	：水盛涼一ゼミ

午前の部
001教室
レジュメ集

第23回　ダヴィンチマスターズ 「言葉の力がつく！世界に一つだけの絵本づくり」

帝塚山大学　現代生活学部　こども学科
４年　中村祐輔　永尾和輝
担当教員　徳永加代

１．ダヴィンチマスターズとは

主催者は一般社団法人ダヴィンチマスターズ。

ダヴィンチマスターズとは、未来を担う子どもたちの自己肯定感・思考力・行動力・他者との協働・社会意識力の５つを育む、「非認知能力」向上のための小学１年～3年生を対象にした体験プログラムイベントである。

その中で、絵本作りのプログラムを現代生活学部こども学科４年生６名が担当した。子どもたち６人～７人のグループに学生が１人先生役になった。

学生が書いた見本を見せながら説明する

２．取り組みの様子

《概要》オンラインでの開催で ZOOM を活用し、２回実施した。
１回のプログラムの時間は約 50 分。
参加者は、小学校１年生～３年生。
（1 回目は 38 名、2 回目は 37 名。）

《活動の流れ》

①全体で絵本作りのプログラムの流れについて説明する。

・『あっちゃんあがつく　たべものあいうえお』（さいとうしのぶ作）を紹介する。

②グループになり子どもたちが自分の名前の頭文字から食べ物を考えて、オリジナル絵本を作る。

・どのような絵本を作成するのか、学生が書いた絵本を使って説明し、イメージを膨らませるようにする。

・食べ物が思いつかない場合、事前に準備した食べ物を書いたヒントカードを示していくつか紹介したり、国語辞典を使って一緒に考えたりする。

子どもたちから言葉を引き出しホワイトボードに示す

・ 他の子どもたちにも「何か思いつく食べ物はないかな」と呼びかけて、一緒に色々な食べ物の名前を挙げてもらい、グループ全体で考えることができるようにする。

・「どんな味がするかな」「その食べ物はあたたかいかな」と問いかけて、食べ物の様子を表すオノマトペを一緒に考え、子どもたちのひらめきを褒めることで、関心や意欲を高めることができるようにする。
（オノマトペとは擬 音語、擬態語のこと）

③子どもたちが、一枚一枚完成したページを綴じて製本する。

・子どもたちの進捗状況を確認し、紙を折る→のりを貼る→製本テープを貼るなどの工程を段階ごとに説明する。

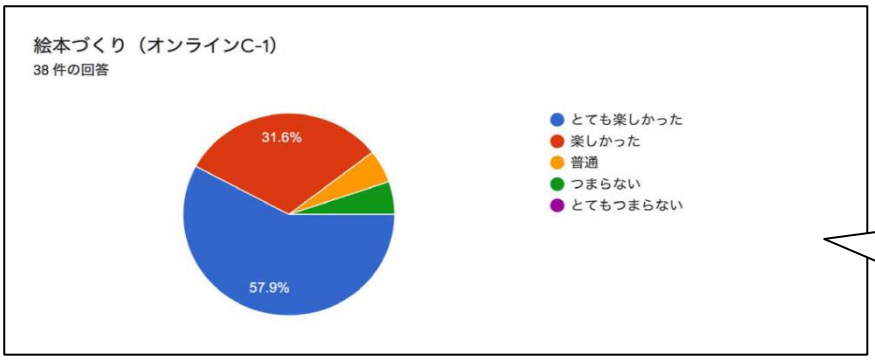
④完成した絵本をグループで発表する。

・よいところを具体的にほめる。

⑤先生が、それぞれの絵本の賞を考え、後日、賞状を届ける。

工程を見せながら説明する

３．参加者のアンケート結果



第２３回ダヴィンチマスターズ実施報告書より

４．参加者の保護者からの感想

・グループに分かれて教えていただいた講師の方が、終始笑顔で優しくしていただけて、子どもがとても安心してできたと言っていました。

・グループワークで丁寧に対応していただけてよかったです。

・先生の説明はわかりやすかったです。

・グループに分かれての作業時に子どもがだいぶ遅れていたのですが、先生の「良いものができている」という励ましでやる気が出て一生懸命色鉛筆を動かしていました。満足のいく作品ができたようで、講座終了後、完成した絵本を家族に読み聞かせてくれました。

５．活動を通して学んだこと

①豊かな発想を引き出すためのコミュニケーション力
　笑顔で積極的に話しかけること

②個性的な作品を作成させるための実践的指導力
　それぞれの子どもに合ったアドバイスをすること

③授業の準備や進行など、全体を管理していく判断力
　時間内に作品が完成できるようにすること

→ 子どもたちの個性を引き出すことができる教員

６．今後の課題と展望

オンライン授業では、進捗・理解度が測りにくいため、わかりやすさ、的確な指示、双方向性が求められる。

今後は、教員として様々な学習活動を通して、簡潔な説明の仕方、視覚的な援助、子どもたちのモチベーションを高める声掛けなど、自身の指導力を高めていきたい。

世代間交流八王子駅前サロンプロジェクト 2020 - コロナ禍における新たな取り組み

（2020 年度大学コンソーシアム八王子「学生企画事業補助金」対象事業）

多摩大学経営情報学部梅澤ホームゼミナール

○髙橋亮、菅原侑士（3 年）、小池翼、竹内啓恭、松本壌弥、山口紗恵子（2 年）※○は執筆担当

1. プロジェクトの経緯

本プロジェクト（以下、PJ と省略）は、八王子市地域包括支援センター旭町（以下、センターと省略）、八王子市民生委員・児童委員協議会第 4 地区民生委員（以下、民生委員と省略）・協力員、有志、八王子市社会福祉協議会、学生が連携して「駅前」という特徴を活かした高齢者サロンの運営を行うものである。2016 年春、八王子市職員の方から「ゼミ活動を八王子市にも広げてみないか。」と声をかけていただき、上記の連携団体との活動が始まった。

2．プロジェクトの目的

八王子駅前はビルが乱立する商業地域である。ビルオーナーとして独居する高齢者、老々世帯は意外に多く、近年は駅周辺再開発による高層マンションの新築が続き移住された高齢者も増えている。サロン運営の企画段階で現状を把握し、連携団体の方々にヒアリングを行い、PJ は「世代間交流」をキーワードに高齢者の方々が自然体でゆったりと過ごすことができ、世代間交流が出来る「みんなのゆったりサロン」を目指すことにした。高齢者の活動を活発にすることで健康寿命の一助となることを目的とし、地域団体の皆様と協力して継続的にサロンを運営していくことを重視している。

3．これまでの活動内容

（1）開催場所・日時

開催場所は JR 八王子駅前から徒歩 5 分程の雑居ビル 3 階にあるセンターの一室（10 畳程度）を利用。開催日時は第 3 木曜日午後 2 時から 3 時 30 分の 90 分である。サロンは年 10 回（2・8 月を除く）開催し、2019 年までの 4 年間で 36 回実施してきた。

（2）連携団体の役割・活動内容

運営にあたっては、民生委員・相談員、有志、センターの職員、学生で役割を分担している。民生委員・相談員、有志の皆さんは、担当地区の高齢者にサロン参加の呼びかけや当日の茶菓の準備・提供、歌の時間の選曲と演奏、おもてなし、交流を、センター職員は、場の提供、受付、お帰り前の準備として体操指導、参加者に伝えたい専門職員ならではの情報提供を担当してくださっている。

（3）学生の役割・活動内容

学生の役割は参加者との交流、司会進行、話題提供（PPT を活用したクイズ等）、連携団体の皆さんの手伝い等である。その他、次回のサロンを紹介するチラシ作成、サロンを広く知ってもらうためのパンフレットの作成等である。また、社会調査を行いながら研究として進めていくことである。これまで館ヶ丘団地、都立大等参考になる取り組みの視察、地域高齢者の生活実態やニーズの調査を行ってきた。

4．2020 年の活動報告・活動成果

今年度も 2021 年 3 月まで 10 回の開催を計画していたが、COVID-19 の影響でサロンは中止が続いている。また、昨年度 500 部作成した「高齢者サロン運営マニュアル」を八王子市内の大学・高専に届け八王子で学ぶ 11 万人の学生たちに各キャンパス周辺の身近なサロンに参画してもらえるようお願いし、世代間交流高齢者サロンの輪を広げることを計画していたが、それも難しい状況となった。そこで今年度は 2 つの新規事業に取り組んだ。

4-1．新規事業「駅前サロン通信」の発行

（1）事業内容

サロンの中止が続く中、4 月くらいからコロナ禍における健康二次被害が問題になり始めた。サロンに参加してくださっていた高齢者の方々の状況が心配になり、私たちは皆様との繋がりを保つことを目的として「駅前サロン通信」を発行することにした。表紙はひと目で季節の移り変わりを感じてもらえるような写真を掲載し、2 ページ目はゼミ生た

「駅前サロン通信」

ちによるコラム、3ページ目は連携団体の皆様からのページとし原稿をお願いしている。4ページ目はなぞなぞやクイズを掲載。読むだけではなく体や頭を使い楽しんでいただけるように工夫をしている。8月には暑中見舞いをお届けし、返信用はがきを添え、お返事をいただき交流を図った。

(2)成果と課題

冊子は、連携団体の皆様の協力を得て各ご家庭に配布して頂いている。連携団体の皆様からは「外出自粛が続く中、何をしてよいのかわからず思考停止になっていたが、冊子配布の提案を受け目が覚めた。冊子の配布は高齢者宅を訪問し様子を伺うよいきっかけになっている。」というお言葉を頂いた。

高齢者の皆様からは、返信頂いたはがきや連携団体の皆様を通じて「駅前サロン通信を通じて学生の日常を知ることができる。」、「通信を月に一度の楽しみにしている。」、「学生が私たちを気にかけてくれることが何より嬉しい。」、「早くサロンでお話しがしたい。」などというお声を頂いている。

編集責任者になると編集計画書を作成しひと月以上前に原稿依頼をするなど先を見据え指示を出さなければならない。冊子の作成は全員初めてのことで、季節の行事、コラムの執筆を通じて一般常識を学んでいる。執筆担当を分担することでゼミ全体の協力体制ができゼミがまとまったのも成果である。

4-2．新規事業「オンライン駅前サロン」

(1)事業内容

COVID-19の影響が長引きそうな状況になり、私たちは6月にオンラインによる駅前サロンの企画書、オンラインに慣れていない連携団体の皆様向けの「オンライン利用マニュアル」を作成し提案した。オンライン駅前サロンは、学生は大学から、高齢者はセンターに集まり、2会場をオンラインでつなぎ交流するものである。連携団体側は積極的に提案を受け入れてくれ、社会福祉協議会・センター側はネット環境や機器の準備を進めてくれた。COVID-19の状況が改善したら9月からオンライン駅前サロンを開催する予定だったため、ゼミ側は夏休み中にオンライン駅前サロンの機器を準備し、企画内容を具体的に煮詰めた。結果的に9月からのサロン開催は難しいということになり9・10・11月は連携団体の皆様とリハーサルを重ね感想・要望を伺い改善しながら準備を進めている状況である。現在は2021年1月の開催に向けて準備をしてはいるが、現状では開催は難しいと予想される。

(2)成果と課題

オンライン駅前サロンを実施していく中で、カメラへの目線、表情、声のボリューム、活舌や読むスピード、全体のスムーズな運営等々多くの課題がみつかり改善していった。オンラインでの交流に重点を置いていたので、サロン会場と大学のタイムラグを考慮し、スムーズに交流できるような話しのやりとりのタイミング、シンキングタイムの取り方などを何度もやり直した。毎回、リハーサルを録画し、チェックをすることで改善を進めた。リハーサルで連携団体の皆様から出された要望や指摘は次回までに必ず改善していくことで、内容がブラッシュアップされていき、連携団体の皆様にも好評である。プロラムはゼミ生全員で考え実施している。

5. まとめ

PJ は5年目を迎える。「学生企画事業補助金」中間報告会では「コロナ禍にありながら、目的を変えずに方法を工夫し発展させている。」と高い評価をいただいた。10月には大学コンソーシアム八王子「八王子地域学生活動連絡会」で事例紹介の機会を頂いた。他大学のボランティアセンター職員の方々や他大学の学生から「なぜ継続できるのか」、「なぜ連携がうまくいくのか」という問い合わせを複数いただき、その答えを考えている内に気づいたことは、5年間の年月をかけて先輩方が築いてきた連携団体の皆様との信頼関係の大きさである。コロナ禍で新企画の「駅前サロン通信」、「オンラインサロン」を速やかに展開できたのも、はがきも含め双方向で交流ができているのも連携団体、高齢者、学生間の関係に安心と信頼があるからだと実感している。

今後、オンラインのニーズは高まる。会場と会場を「つなぐ」だけではなく、双方向で「交流」する工夫を重ね良い仕組みづくりを行っていきたい。

謝辞

お世話になりました八王子市地域包括支援センター旭町、八王子市民生委員・児童委員協議会第4地区民生委員・協力員、有志の皆様、八王子市社会福祉協議会、大学コンソーシアム八王子、八王子市高齢者いきいき課の皆様に心よりお礼申し上げます。

2020年度　多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭

［コロナ禍　今私たちにできること］

多摩大学目黒高等学校

目黒イベントスタディーグループ

２年　秋元/朝倉/下平/古川

1)はじめに

目黒イベントスタディーグループは、多摩大学『日本伝統文化研究会』に所属している大学生と一緒に活動しています。主に商店街イベントや大型集客イベントの企画・運営を通じて社会人基礎力を養うために活動しています。

2)今年度の活動内容

【コロナ感染拡大防止ポスター】

目的:商店街でイベントがおこなえない中イベント以外の形で商店街と関われる方法がないか考えた結果、より早く新型コロナウイルスの感染拡大防止してもらうため。

【和紙二百羽鶴】

目的:新型コロナウイルスの影響で十分に人と接することができないため、一枚一枚すって染め上げた優しい和紙の鶴でぬくもりを感じてもらうため。

【校内キャンドルナイト】

目的:今年度はキャンドルイベントが一回も行えず、また今年は多くの花火大会が中止になったため、多摩大学目黒の校舎に和紙キャンドルで花火を打ち上げ、生徒達に感動を与えるため。

【小論文コンクールへの参加】

目的:自分たちの活動を見直すため。

3)今年度の活動を終えての感想

私達はコロナ禍で、例年通りの活動をすることは叶いませんでしたが、例年通りの事だけをするのが我がスタディーグループではありません。私達は常に主体的に、向上心を持って日々新しい事にチャレンジする精神を持って今年度は新しい企画など様々な活動する事ができました。これからもこの気持ちを忘れずに活動していこうと思います。

2020 年度インターゼミ　多摩学班

「次世代に届けたい多摩地域の在り方　― 30 年後の次世代が住み続けたい多摩地域になるために ―」

メンバー

多摩キャンパス：長島剛、荻野博司

湘南キャンパス：山田大介

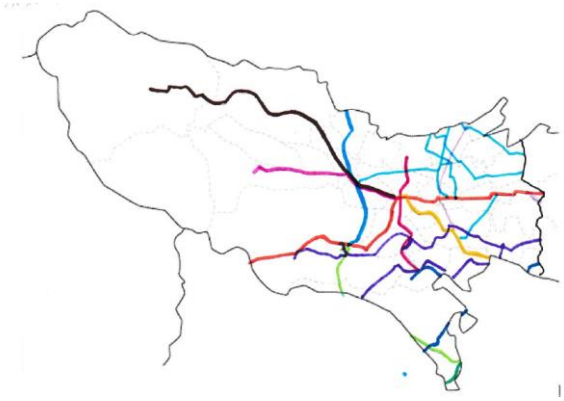
院生(OB 含)：菊永泰正、鈴木正利

学部生：神尾正紀、井上澪夏、細川拓海、田中彩佳、野中柊季

1. 研究の趣旨

多摩学班は多摩地域を題材とした研究を継続して行っており、今年度で 12 年目の活動となっている。昨年度の研究「「多摩地域の産業から未来を描く~住み続けたい街の実現に向けて」から街の発展、産業の振興にはモビリティの発達が重要であることを認識した。この認識を確固たるものにするべくモビリティに焦点を当てている。

2. 多摩地域の鉄道の歩み



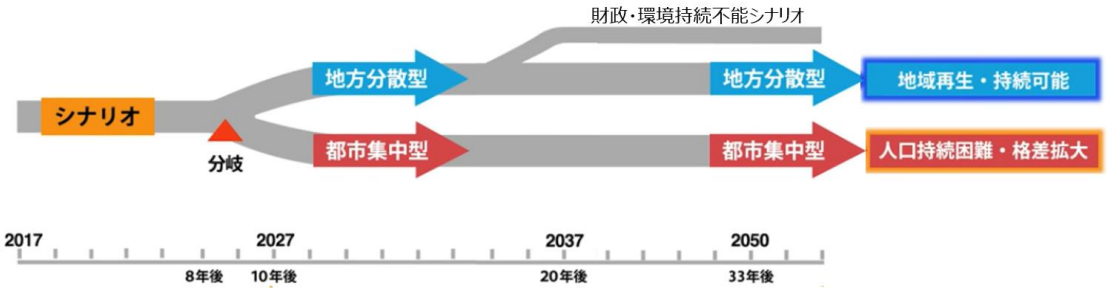
本章では東京の鉄道会社が生まれ始めた 19 世紀を起点に現在に至るまでの鉄道会社の軌跡を見ている。ここから、当時のモビリティ(鉄道)が社会や地域、その住民に対してどのようなた影響を及ぼしたのか文献調査を主としてまとめている。
当時の鉄道は主に明治維新時に行われた「東京都」の都市整備や東京湾開発に必要不可欠であった石灰、多摩川河川で採取できた砂利等の貨物輸送が主な役割として走っていた。多摩川沿いの村々では砂利特需に伴い、新たな産業形態が誕生したという歴史も残っている。

3. 地域社会におけるモビリティの役割

各企業の IR 情報やフィールドワークを元に研究を進めている。
現代社会に広がっている様々なモビリティの役割について文献調査とフィールドワークを通して研究してきた。今後多摩が抱えるであろう交通課題や地域交通の役割について推察を続けてきた。現在抱える課題だけでなく新たな発見もある。輸送が主な目的であった鉄道会社がコミュニティづくりを率先して行い始めているということだ。東急が発表した「私鉄 3.0」や JR が報告している「変革 2027」のようにコミュニティづくりに焦点を当て新たな取り組みを続けている。

4. アフターコロナの都市近郊について

2019 年度末から猛威を振るい始めた新型コロナウイルスによって課題が幾つか見えてきた。その内の一つが一極集中である。一極集中状態が続くと、都市均衡を始めとした日本各地の行政の体力が続かなくなるという推察も出ている。
本章では自律分散型社会に必要な要素の 1 つである「コミュニティ」に焦点を当て事例研究を進めてきた。



5. 30 年後に住み続けたい多摩地域の姿

30 年後でも多摩地域が住みやすいといえるような仕組みを提言という形で纏めている。12 月 12 日現在、具体的な提言はできないため本日行われる報告会ではその方向性とその案を共有する。

以上

多摩大学アクティブラーニング発表祭

東経大・小木ゼミによる企業とのコラボ活動

国分寺物語・TFTランチ・こんなお菓子あったらいいなPJ
知財活用スチューデントアワード2020

12月12日㈯
於:多摩大学

東京経済大学　経営学部
小 木 ゼ ミ

小木ゼミのプロフィール

「マーケティング・広告・プロモーション」
～企業コラボと個人研究で圧倒的な就職力の獲得～

個人研究（1：30での批判討論）

批判的精神＋論理的思考＋ディスカッション力

「土壌汚染の減少」
「労働者増加に向けた一考察」
「食品ロスの抑制」
「医療費負担の軽減」
「空き家数減少」
「建設産業供給量増加に向けた一考察」
「農家人口減少の抑制」
「再生可能エネルギー普及に向けた一考察」
「介護職における人材不足の解消」
「国内生乳生産量増加に向けた一考察」
「地方の医師不足解消」　等

ゼミ生数　35名
男　10名
女　25名

2.3年生22編　/　4年生13編

小木ゼミの活動概要

①個人研究
②就職支援活動
③企業コラボ
④各種イベント活動

圧倒的な就職力

【これまでの主な就職先】
日本銀行(2人)、みずほ銀行・証券(8人)、楽天、キーエンス、三菱食品、リクルート、アスクル、スズケン、マルハニチロ、日経広告社、井田コーポレーション(CANMAKE)、セコム（2人）、ノジマ、OBC、久光製薬（2人）、良品計画、西川産業、大東建託、一条工務店（2人）、タカラスタンダード、大塚商会（6人）、地銀(常陽、足利、群馬、八十二、東邦、百十四、富山等)、信金（西武信金、たましん、青梅信金等）、オリコ（2人）、ランドスケープ、ユニアデックス、WIZ、各市役所、学校教諭、自衛官幹部、東経大職員、大学院進学（3人）⇒　一橋大学准教授、愛知学院大学准教授　　他多数

企業とのコラボ活動
（サブゼミ）

地域活性化：Nipponia Nipponとのコラボ
●「国分寺物語」の企画・運営・制作

国際貢献：Table For Twoとのコラボ
●東経大生協でのTFT健康ランチ企画・販売

新商品開発PJ：イーグル製菓とのコラボ
●こんなお菓子あったらいいなプロジェクト

知財活用スチューデントアワード：主催 西武信用金庫
●大手企業等の開放特許活用による商品アイデア創出

企業コラボ①：国分寺物語

小木ゼミ×Nipponia Nippon

・国分寺や東経大・小木ゼミの魅力を広めていく。
・国分寺ゆかりの方々に取材をすることで、
目に見える魅力に以外に様々な「物語」を掘り出し、
地域活性化を狙います。

Webサイト「国分寺物語」で情報発信！

・国分寺の魅力を写真とともに掲載
・Facebook・インスタ投稿

国分寺物語　で検索！

小木ゼミ×Nipponia Nippon

こくベジ普及活動

・国分寺市の農業と畜産物の素晴らしさをPR
・国分寺の地場野菜を広めることで
地域活性化を目指す。

小木ゼミの取組み

・学祭でのこくベジの販売
・地域の交流イベントの参加
・国分寺物語シンポジウム×こらぼdeサロン（国分寺市役所）の共同開催
・こくぶんじ写真コンクールの審査
など

こくベジ　で検索！

こくベジのじかん

こくベジ販売PR

小木ゼミ×Nipponia Nippon

国分寺物語シンポジウム×こらぼdeサロン（国分寺市）

・小木ゼミの国分寺物語による町づくり活動報告

・地域の方々とのディスカッション

国分寺市誕生130周年記念シンポジウム

・国分寺に携わる方々とのパネルディスカッション

企業コラボ②：TFTランチ企画・販売

小木ゼミ×Table For Two×生協

発展途上国の飢餓と先進国の肥満の解消を同時に行う運動

生協で購入してもらうと一食につき20円が Table For Two を通じて発展途上国に寄付

#おうちTFTプロジェクト

計11食のヘルシー料理を投稿

22食分の給食

TABLE FOR TWO University Association

※1投稿につき給食2食分（40円）の寄付

販売実績

ふわとろオムライス、俺の鶏丼、ぶっタル丼、バジトマティーナwithB肉盛！～失礼いたしました。ナムルと温玉も添えてしまいました。～ソースが選べる！チキンステーキ丼、豚キム食べてムッキムキ！豚キムチ丼

小木ゼミ×Table For Two×生協

2020年度 後期 大学生協 販売メニュー

食堂に行こう！　期間限定！　うまうま！

とろ～り卵のネギトロ丼

販売期間
11月30日～12月4日

価格
470円
（寄付額20円）

小木ゼミ×Table For Two×生協

小木ゼミによるTFT活動の成果

年	出食数	寄付金額
２０１７年	２０９９食	４１,９８０円
２０１８年	３１０７食	６４,０４０円
２０１９年	３９２２食	７８,４４０円

３年間で合計９,１２８食 販売
１８４,４６０円を寄付！

小木ゼミ×ＴＦＴ
オリジナルロゴの作成

企業コラボ③：お菓子新商品開発

小木ゼミ×イーグル製菓・鈴木栄光堂

「こんなお菓子あったらいいな」プロジェクト。
味やパッケージ、ターゲットなど様々なことを考え、「売れるお菓子」をイーグル製菓に提案

商品化したお菓子も！

昨年度の最終プレゼンの様子

グループごとに考え抜いた渾身の新商品を提案！

1月13日（水）2限
東京経済大学
お菓子新商品開発
ゼミ内選考会
（オープンゼミ）

３月
イーグル製菓社長への
最終プレゼン

企業コラボ④：知財活用スチューデントアワード

小木ゼミ×西武信用金庫

・学生の商品アイデアを発表するアワード。
・大手企業の開放特許を活用し、これまでの市場にない斬新なアイデアを創出する

小木ゼミすいと～よ

運動機会創出に向けた
水筒デジタルサイネージの提案

Custom Wonder (order+water) Bottle
～アナタの生活のお供に～

使用用途に合わせた
カスタマイズ可能

世界にたった一つの
オリジナル水筒

観光業におけるニューノーマル模索取り組みの構造 -緊急報告-

多摩大学経営情報学部中庭ゼミ２年（地域政策・観光まちづくり研究室）

1.目的

2020 年、新型コロナウイルスの世界的流行に伴い、国や地域を越えた移動が自粛・制限された。そのため、人々は観光を一時的に控える形となり、観光需要が激減したために観光地や旅行産業は大きな影響を受けた。

今回の発表では現在、観光関連企業が取り組んでいる事例を報道事例などから読み取り、今後の観光業界がどのような方向性を目指しているのか報告を行う。

2. 調査方法

新聞やネット等に掲載された観光関連企業各社の対応や、ポストコロナ市場に向けて取り組まれている事例やコロナへの対応事例を収集し、KJ 法によるカテゴライズを行い、観光業におけるニューノーマルの意味について考察した。

3. 現状について

コロナ禍において、人口減少時代を見据えた対応を予め検討していた観光関連企業はユニークな取組を行っている。一方で、長期の計画を立てていなかった企業は短期的な対応に終始しているところも存在し、各社明暗が別れている状態である。

4.コロナショックへの取り組み事例

これからの観光客を受け入れていくために、密閉・密集・密接の防止や消毒の徹底等は、業界の垣根を越えて共通して行われている。観光業においては一観光地に大量の観光客が殺到し、クラスターが発生することは避けなければならない事態であり、観光施設や交通機関は、人数制限等を設けていることが基本である。

また、観光客側が求める旅行スタイルも変化し、大量の客が殺到し、観光地のあらゆるものを見るような、従来のマスツーリズム観光様式から、少人数で、サービス・体験を消費する形へと変化しているのではないかと考えられる。

交通業界においては減便や次期ダイヤ改正における需要に合わせた本数の調整といったマイナス面のニュースも報道されているが、その一方で地方交通を担う企業が、利用客減少で不要になったスペースに食品や荷物、郵便を積載する「貨客混載」にコロナ以前から人口減少時代の対応策として取り組んでおり、今後は大手企業も参入していく見通しである。

オンライン観光に関しては、強みとして物理的な人数制限が無いことや、目的地までの移動時間が存在しないため、時間を有効活用できることが挙げられる。

しかし、オンライン上で動画や VR で疑似体験をするだけでは、今までの広報活動と大差ないものであり、長続きしないと考えられる。今後は教育や食品の直送といった新たな要素をオンライン観光と組み合わせていくことで、新たなサービスイノベーションに繋がる要素となっていくと考えられる。

ワーケーションは、仕事を非日常的環境で行うものであるが、日本ではコロナ禍で

在宅勤務の増加とともに見直され、今年の9 月には一般社団法人ワーケーション協会が設立された。ワーケーションの強みとしては既存の観光スタイルはもちろん、非日常の空間に触れながら仕事を行えることが挙げられる。一定の需要が今回発見されているが、これは観光スタイルと共に、働き方のスタイルの変化からも解釈しなくてはならならない。それが今後の需要を左右する。

一時的に脚光を浴びているマイクロツーリズムは、アクセスに 1～2 時間程度の近い地域での観光を行うことを指している。遠方へ向かうことでコロナへの感染・拡散が発生してしまうリスクを防止しつつ、観光産業を持続できるモデルとして注目されてはいる。

これを押し進めるために自治体や企業は観光地近隣の市区町村の住人を対象とした割引プランを用意し、今までは宿泊率が低く、収益が低かったターゲットに今まで以上にフォーカスし、消費を促すことで、遠方からの観光客の減少による減収分を補おうとしている。

しかし、宿泊を伴わない観光は利益率が低いため、今後も継続してマイクロツーリズムをビジネスとして持続させるには、限られた条件で成立する近隣高付加価値サービス提供というビジネスモデル（星野リゾートが唱えている）だけではなく、アクティビティを追加することで補完するといった施策が重要だと考えられる。逆に、補完効果が得られない近隣観光地も多数あることが予想され、今後は淘汰されていくことであろう。

流通においてはコロナ禍で宅配などの需要が高まるものの、輸送する物品にウイルスが付着する可能性や、輸送者が感染した場合のリスクを考慮して対策を行うべきであり、消毒や検温などは当然必要となる。

物流の問題点は、消費者が物品を受け取るまでにどのような企業や人間が関わっているかがわからないという、サプライチェーンの衛生的情報の不透明さがあり、コロナ対策が十分に行われているか顧客が把握することが難しい点が挙げられる。物品の輸送プロセスの「見える化」に企業が取り組むべきであり、IT を活用したシステムを構築して積極的な情報開示が求められていると言える。

5. 結論

今回のコロナショックでは、近い将来の人口減少による市場縮小への対応に、新しいビジョンを見据えていた企業と、そうでない企業で、コロナショックへの対応に大きな違いがあった。

長期の成長戦略がなかった企業はコロナによる変化に対応できず、短期対応に追われながら消耗しているように思われる。

今回の調査からわかった観光業界におけるニューノーマルとは、主に IT を活用して、市場縮小を予め見据えていた企業が、コロナショックへの対応のために、将来ビジョンの片鱗が早期に現れた観光市場のことであると考えられる。

短期対応に追われる企業はいずれ市場から退出し、コロナであれ、人口減少であれ需要縮小と持続的な衛生環境に積極的に対応した企業が生き残ると推測される。

飛騨高山地域観光研究

飛騨高山アクティブラーニングプログラム・スキー場活性化チーム
神尾　森田　柳沢　大森　徳永

“飛騨高山・アクティブラーニングプログラム”とは？
今回で 4 年目となる岐阜県高山市と多摩大学の連携プログラム。
実際に高山市を訪問させていただき、地域の魅力や新たな資源の発掘と情報発信、
そして学生目線で、地域の活性化提案に取り組んでいます。
過去には、SNS を利用した情報発信、
SDGs を活発に行っている高山市内の企業へのヒアリング・分析研究などを行いました。

私たちのチームは、岐阜県 高山市 久々野町にある、「アルコピアスキー場」の、さらなる活性化に向けて、活動をしています。

目的

令和１０年に「桃源郷久々野」を
愛している人が求める価値/ニーズは何かを考え
それを実現出来る事業を提案する。

提案

久々野町という自然あふれる緑豊かな地域、
そして高山市街地と下呂温泉の二大観光地のちょうど真ん中にあるという 2 つの特色を生かした、オフシーズンでのグランピングサービスの提供。

グランピングは話題性×独自性に長けている!!

〈グランピングでの主なプログラム〉

春

プロジェクションマッピング
天体観測

夏

ナイトひまわり園
太陽光発電

秋

ドッグラン
紅葉のライトアップ

現地の紅葉

＋

高山と下呂送迎サービス

高山

久々野
（グランピング場）

下呂

移動が自由に

午前の部
201教室
レジュメ集

2020年代の日本の「観光立国」を考える

―「安定」かつ「高付加価値」産業の構築は可能か―

報告者：インターゼミサービスエンターテイメント班

１．研究背景

戦後日本の高度成長期においては鉄鋼や自動車、エレクトロニクスなどを中心とした基幹産業が「貿易立国日本」を支えてきた。しかし、近年鉄鋼やエレクトロニクス産業を中心に輸出力が低下するとともに国内生産も頭打ちとなり、世界ＧＤＰに占める日本のＧＤＰの割合は1988年の16%から2018年は6%にまで低下した。日本の製造業が大きく衰退するなかで、製造業の就業者数は1990年の2,099万人から2020年は1,149万人に減少ししたのに対し、情報・サービス業の就業者数は同1,962万人から同3,098万人に急増するなど製造業から情報・サービス業への労働移動が顕著になっている。

こうしたなかで、政府は新たな日本の主力産業を構築すべく、「観光立国」を掲げたのである。2007年から「観光立国推進基本計画」を策定し、観光産業を促進するための環境整備に必要な諸政策を講じながら観光産業の総合的かつ計画的な推進を図るなどして日本の「観光立国」について取り組んだ。その結果、多くの課題を残しながらも2019年度は海外からの訪日観光客数が過去最多の3,188万人に達したのである。

ところが、今般の新型コロナウイルスの感染拡大に伴い日本の観光産業は大きなダメージを受けている。コロナウイルスの感染拡大によって移動と交流のグローバリズムの陰の部分が浮き彫りになり、今後日本の観光産業の政策方針の総点検や今後の在り方を考えなければならない状況になったといえる。

そこで、本研究は日本の観光産業の現状と課題を踏まえたうえで今後の観光産業の在り方、そして観光を含むレジャーの価値を再考し、「安定」かつ「高付加価値産業」の構築の可能性を検討するものである。

２．研究目的と方法

本研究の目的としては、①基幹産業としての観光産業の課題を明らかにする。②観光は人間にとってどのような存在なのか、どのような意味を持つものかを再考する。③サービス業全体の重要課題である「人材」について焦点を当て、課題の明確化と対応策を提示する。

方法論としては、主に文献調査とフィールワークを通じて供給者側（産業研究）、需要者側（観光コンテンツ研究）、供給者と需要者が結びつく現場（人材研究）の三つの観点から日本の観光産業のこれまでの歩み、そして現状と課題の整理を通じて2020年代の日本の観光産業の再構築、育成策を模索し、中長期的に「安定」かつ「高付加価値」の観光産業を構築するための具体的提案を行う。

３．結論

日本がインバウンドを持続的に成長させるには、訪日旅行者の偏り、訪問する地域の偏りなども課題に取り組む必要がある。旅行者を最も人気のある都市部だけに誘致するのではなく、地方にも取り込むことが重要だ。観光庁が規定した日本版 DMO については、税金運営ではなく、欧米のように受益者負担で運営する仕組みを作るべきである。また、海外からの訪問客だけを想定するのではなく、国内にも目を向け、今起きている日本人のツーリズムの変化にも捉えておくべきだ。一方、旅行者に提供する観光コンテンツとしては、医療ツーリズム（人間ドックや腹腔鏡・ロボット手術に特化）や MICE、インダストリアルツーリズムなど大きなポテンシャルのあるコンテンツの具現化に向けた取り組みが大事であろう。加えてラグジュアリーとも表現できる「ハイエンド層の観光」についても、高付加価値観光業の重要な柱として育てることが重要であろう。そして、人材面においては中長期的な観光産業の安定成長や発展のため、観光産業に携わる人材の確保、適切配置、役割や職務に応じたノウハウ向上やスキトラの機会創出が急務である。さらに、観光教育大国である欧日米の教育、特に大学のカリキュラムなどにおいて真似るところと日本らしさに置き換えるところを見定め、就業する前の段階から人材育成を強化していくことが重要である、企業や組織と働き手のミスマッチを極力減らすため、インターンシッププログラムや定期的に双方向で働き手に求める素養やマインドなどの情報交換によって、産業や企業努力だけではなく、また偶発的な人材育成、サービス提供ではなく、必然の人材育成のうえに成り立つサービス提供が今後は求められると考える。さらに、将来のキャリアや従事内容向上のための学びやトレンドの把握の機会提供も必要であろう。

拝観券ホルダー「券葉集」開発プロジェクト成果報告

帝塚山大学
文学部
文化創造学科

絹野晋之介
杉本美里
勢志晃太
吉岡双葉
和田那実

文化創造

「文化」を知って、新しい価値を創造する。

『大和野菜』×『サイダー』

『酒粕』×『スイーツ』

?

『???』×『????』

『つながりのないもの』をつなぐ。

万葉歌碑

元号「令和」万葉集に注目

「万葉集」を「観光」に活かす

券葉集

拝観券：収集保管、飾る

万葉集の歌：万葉集を奈良の現地で味わう

メモ：旅の記録を残す

スタンプ：神社、寺、博物館などの記念スタンプが押せる

新しい観光の形

拝観券を集める観光

万葉歌碑を探す観光

旅の記録を残す観光

スタンプを集める観光

大学同窓会「学生チャレンジ制度」で認定

昨年11月の学祭「虹色祭」で試験販売

卒業生との出会い

秘めた可能性

- 大学と地域の新しい「お土産」
- 新しい「ツアー」企画
- 奈良から世界へ？

「完成で終わり」じゃない。

「伝える」って難しい。

「出会い」が楽しい。

コロナ禍における日本のスポーツ業界の今後の在り方について

報告者　井上澪夏（バートルゼミ）

目次

１．研究背景と目的
２．国内外の取り組み状況と効果
３．提案（根拠）
４．今後の展望
５．参考文献

研究背景と目的

今年は、コロナウイルスの感染拡大により開幕間近であった東京オリンピック・パラリンピックが延期になった。さらに、コロナ禍において世界中の人々が移動の自由や交流も制限を受けざるを得ない状況に追い込まれ、中でもスポーツ業界を取り巻く状況は厳しさを増し、スポーツをする方も観戦する方も余儀なく対応を迫られる事態となった。

「健全な精神は健全な身体に宿る」といわれるように、スポーツは人間にとって欠かせない要素の一つであり、それによって人間性が鍛えられ、高められる。今後、With コロナの時代においては、如何にしてスポーツに参加したり、観戦したりしてスポーツ業界を支えていけば良いのか。新しい時代にあったスポーツの在り方とは何か。本発表は、こうした問題意識をもってコロナ禍における国内外のスポーツ界の取り組み状況を考察しながら、日本のスポーツ業界の今後のあり方についての問題提起を行いたい。

内容

・日本のプロスポーツの現状として、イベントの参加人数制限は現在、「入場者数が５０００人以内」か「収容人数の５０％以内」のいずれか厳しい条件が適用されている。

・海外スポーツのコロナ対策で、アメリカのメジャーリーグでは感染防止の一環として、移動距離を少なくする目的で、西部・中部・東部のそれぞれの地区内だけに限ってレギュラーシーズンの試合が行われている。

・プロ野球やＪリーグといった人気のプロスポーツでは観客数の制限が残るため、コロナ禍が当面続く。そのため、日本と海外のプロスポーツで、現地観戦者の減少を踏まえたネット観戦という新しいビジネスをしている。さらに、世界的に盛り上がり始めている e-sports がある。

結論

・リアルではない環境下で、情報やサービスを画一的・一方的に提供するのではなく、受け手の趣向に合わせながら受け手自らも発信できるサービスが求められている。

・ネット観戦、e-sports は今後のスポーツ業界に大きく関わると考えられる。新しいスポーツビジネスを世界に広めるには、受け手の趣向に合わせたサービスを情報発信することが重要と考える。新たなスポーツ価値が人類の豊かな生活を形成していくことだろう。

飛騨高山地域観光研究

特産品開発チーム

白井・石川・大澤・堀井

飛騨高山アクティブラーニングプログラムとは？

今回で 4 年目となる岐阜県高山市と多摩大学の連携プログラム。

実際に高山市を訪問させていただき、地域の魅力や新たな資源の発掘と情報発信、そして学生目線で、地域の活性化提案に取り組んでいます。

過去には、SNS を利用した情報発信、

SDGs を活発に行っている高山市内の企業へのヒアリング・分析研究などを行いました。

今年度は、初の試みとなる通年でのプログラム。リモート下で高山の皆さんとつながり、発表を行いました。その数はなんと、4 回にも上ります!!

11 月 8 日から 10 日には、実際に高山市を訪れ、現地調査を行いました。

私たち特産品開発チームは、高山市久々野町にある道の駅「飛騨街道なぎさ」で販売する特産品の開発・提案を行いました。

高山での現地調査の様子

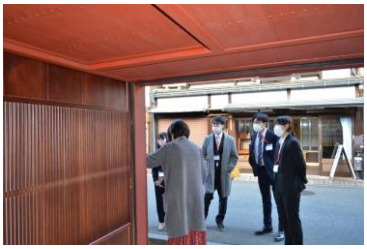
〈現地の食材と向き合う〉

ほうれん草

りんご

〈高山の食材を使った試作品づくり〉

〈現地の方との意見交換・プレゼンテーション〉



令和２（2020）年度多摩大学経営情報学部アクティブ・ラーニング発表祭配布資料 B-5

多世代交流 みんなの食卓プロジェクト 2020 - コロナ禍での課題解決の模索

多摩大学経営情報学部梅澤佳子ホームゼミナール
○塩澤侑奈 北元拳太 今平竣也 佐藤悠騎 寺田蓮（3 年）※○執筆者
櫻木悠一朗 佐藤史彬 宮腰裕 山川大雅 山本舞(２年)

1. プロジェクトの経緯

梅澤ゼミは 2010 年から連光寺・聖ヶ丘地区や多摩立聖ヶ丘コミュニティセンター（通称：ひじり館）運営協議会と連携し、幾つかのプロジェクト（以下、PJ と略す）を行ってきた。

2014 年、当時のひじり館運営協議会総務部長兼多摩市食育ネットワーク推進連絡協議会委員の方から「食育」と「世代間交流」をテーマに新規事業を考えてもらえないかと依頼を受け本事業「多世代交流みんなの食卓 PJ」を企画・提案したところ、多摩市青少年問題協議会連光寺・聖ヶ丘地区委員会、有志を含めて事業を行うことになった。

事業の目的は、多世代が交流する場を提供すること、多世代が食に関する学びを深め、孤食・個食・粉食・小食・固食になりがちな現代の食を見直すきっかけを提供することである。また、今日では難しくなったみんなで食卓を囲み食べる楽しさを味わってもらうことも大きな目的である。

2.「おにぎりを握って食べようの会」

当初、有志によって始まったみんなの食卓 PJ「おにぎりを握って食べようの会」は 2016 年度より館の事業となった。6 年間で 27 回実施した。本事業の内容、これまでの成果については、2014～2018 年度 AL 発表祭資料をご覧いただくことで今回は紹介を省略させていただく。

3. 今年度の活動と成果

新型コロナウイルス感染症の影響により人々の交流が出来なくなる中で、ひじり館の総会等も開催できない状況が続き、2020 年度事業計画も大幅に遅れていった。ゼミも 4 月当初の学内集中ゼミが中止になり、オンラインでの活動になった。

3-1. 新規事業①
広報紙「ひじり CAN」からの情報発信

美味しい低カロリーの夏野菜「とうがん」

外出自粛生活が続き運動不足、体重の増加が気になりますよね。家での食事が多くなって毎食の献立に苦労するのではないでしょうか。季節の野菜、ダイエット、献立、この３つのキーワードで紹介したいと思ったのがとうがん（冬瓜）です。

私の家では、夏になると母がとうがんの料理を作ってくれます。とうがんとひき肉にとろみを付けた煮物（写真）は温かくても美味しいですが、冷やして食べるとすごく美味しいのでオススメします！暑くて食欲がない時も体にしみわたるようです。また、簡単だそうです。調理法はネットから複数確認できます。

とうがんはウリ科の野菜です。95%以上が水分で、低糖質・低カロリーなのでダイエットには最適なのだそうです。栄養価と効能は、カリウム：塩分の排り過ぎを防止、ビタミンC：コラーゲンの生成に必須、抗酸化作用、サポニン：抗酸化作用、免疫力の向上、肥満防止、業酸などが含まれています。

夏野菜なのに名前に「冬」という漢字が使われている理由は、玉のまま冷蔵所で保管すれば冬まで品質を落とさずに食べられるくらい保存性が高いからだそうです。

〔参考 URL〕
①写真：味の素レシピ大百科 https://park.ajinomoto.co.jp
②URL：ja.wikipedia.org/wiki/トウガン
③【管理栄養士監修】糖質制限向きウリ冬瓜の糖質とカロリー mogwell.karadashift.jp/80817

みんなの食卓プロジェクト　多摩大学梅澤ゼミ３年　寺田

4 月にひじり館運営協議会の方々に連絡すると「事業が殆ど中止になり、広報紙に掲載する記事がないので、発行を辞めようかと考えている。」という話しを伺った。広報紙「ひじり CAN」は、ひじり館運営協議会が毎月 8,700 部発行し、連光寺・聖ヶ丘地区の各ご家庭に加え各コミュニティセンター、公民館等、多摩市内の公共機関に配布される広報紙である。私たちはこのような時だからこそ地域住民に地域のさまざまな情報を伝える必要があると考え続けることを提案した。また、本 PJ も活動休止が続く中、広報紙を通じて食に関する情報や交流を図りたいと思い広報紙への連載スペースをいただけるようお願いした。外出自粛が続く中、家族で過ごす時間が多くなるこの機会

だからこそ、地域の方々に「食」や「食卓」について考えて欲しいという思いからである。原稿は年間を見通して各月のテーマを設定しゼミ生全員で分担し作成している。5 月はオンラインで講義が始まったこと（学生の近況）、6 月は子どもたちに向けてのメッセージ、7 月は季節の食材の記事（食に関すること）など、季節感を大事に掲載号の月にちなんだ行事やイベントについての知識や料理レシピなど子どもたちからお年寄りまで多世代が楽しめる記事を展開した。

今回の取り組みは、イベントが開催出来ない中にありながら、みんなの食卓 PJ を多くの人に知ってもらうことができた。また、自粛期間中でもひじり館とのこれまでにない繋がりを作ることができた。

3-1. 新規事業②

オンラインサロンの仕組みづくり

対面で事業が開催できなくなり、人々の交流も長期にわたって難しくなることが予想された。私たちは「with コロナにおける新しいイベントの開催方法」を検討し連携団体の方々に提案した。今までの活動を活かした「おにぎりを握って食べようの会」のオンライン開催と、新提案として「食」に関するクイズを中心とした「多世代交流イベント」のオンライン開催、またこの 2 つの案で感染対策を施した形での対面開催の 4 つの案をまとめ、9 月に行った連携団体との合同ミーティングで提案した。結果は「食品を扱ったイベントを対面で行うことは難しい。」「児童は学校から地域イベントへの参加を禁止されている。そのため対面での開催は難しい。」「会の目的は多世代が交流しておにぎりを作ることである。オンラインだとそれができない。」「オンラインでは高齢者の体調の変化がわからない。」などオンラインでの開催に否定的な意見が多いことが分かった。そこで、10 月にはオンラインをご理解いただくために、梅澤ゼミの別の PJ のオンライン開催リハーサルの模様を見学していただいた。11 月には 2 回目の合同ミーティングを実施し、「ZOOM」体験をしてもらい、今後の進め方について議論した。やはりオンライン開催には否定的な意見が多く、「その場の雰囲気を感じることができない、参加者がどう受け止めているのかが分からない、オンラインは画面を切り替える際に間が空いてしまうのが嫌だ」といった意見をいただいた。また、今後も子供たちが対面のイベントに参加することは難しいということが分かった。

4. 今後の方向性、次年度の課題

今後は、対面での開催を中心としたオンラインを用いたハイブリット式の開催を目指すことになった。場所はひじり館ホールを使用してソーシャルディスタンスを十分に確保する。内容は、新提案した「食」に関するクイズと小学校農園ボランティアの方による農業に関する話を中心としたものである。次年度も従来の対面開催は難しいと思うが、新しい生活にあった新しいイベント開催に向けて連携団体の皆様の意識の変化をみつつ、プログラム内容の充実をはかり、パワーアップした内容を届け続けられるよう準備を進めたいと思う。

謝辞

ひじり館運営協議会の皆様、多摩市青少年問題協議会連光寺・聖ヶ丘地区委員会の皆様に心より感謝申し上げます。

IT 化する医療～情報セキュリティのあり方～

多摩大学目黒高校　投資戦略 SG グループ

2 年 3 組 入岡 美有
2 年 3 組 川野 聡里
2 年 3 組 田中 愛深
2 年 3 組 山田 千慧

1.はじめに

・まず、私達が医療という項目について興味を持ったのは昨今の問題となっているコロナウイルスからです。病床や医療関係者の人員の不足により、医療現場が切迫し、院内感染や病院に赴くまでの交通機関での接触など、多くの問題が挙げられます。

その中で注目されているのが、多くの職場や学校などで取り入れられている「リモート」という形式を活用することです。

・この「リモート」という形式をとることでコロナ罹患者と医療関係者の院内での接触を少なくすることができ、定期的な診療を必要とする人の感染リスクを軽減することに繋がります。

・また、交通機関での感染リスクを抑えるのみならず、医療機関に赴くことが難しい高齢者や、地方在住の人々、体の不自由な人々も医療が受けやすくなるというメリットがあります。

これは、コロナ禍を乗り越えた後にも大きく活きる形式なのではないかと考え、私たちは遠隔医療 又、在宅医療について調べようと思いました。

課題

・遠隔医療 又、在宅医療を行うに際し、インターネット上に保存される患者の個人情報などの管理状況が懸念されます。

例えば、病院内のパソコンで業務を行っている中で、なりすましメールに対応してしまったり、不正プログラムの入ったソフトウェアをダウンロードしてしまったりすることで情報漏えいが発生してしまう場合があります。他にもウイルス感染による、乗っ取りやフィッシングなどが原因で情報漏えいが発生する場合もあります。

このようなことを受け、情報セキュリティを確かなものとすること こそが遠隔医療を行う上で、一番重要な課題として挙げられます。

投資テーマ

IT 化する医療～情報セキュリティのあり方～

選定した企業

・V-cube
・株式会社エムティーアイ
・株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ)
・GMO グローバルサイン・ホールディングス
・トレンドマイクロ株式会社(TREND)
・メディカル・データ・ビジョン(MDV)
・アドソル日進株式会社
・日医工株式会社
・ニプロ株式会社(MIPRO)
・JBCC 株式会社
・株式会社 JMDC
・テクマトリックス株式会社
・インフォコム株式会社
・LINE
・OPTiM
・EIZO 株式会社
・オムロン株式会社
・AGS 株式会社
・ケアネット株式会社
・MRT 株式会社

選定基準

・医療と情報セキュリティの両方を重視している会社を第一に選定しました。

・医療面では、病院間での情報伝達を円滑にするための医療サービスを開始している企業や、オンライン診察といった遠隔医療に力を入れている企業を選定しました。
また、コロナウイルスの影響を受け、既存のオンラインシステムだけでなく、新たな情報医療サービスの簡易化や実施をしている点にも注目しました。

・情報セキュリティ面では、在宅診療や遠隔医療を利用する上で、管理する必要のある電子カルテの情報や、患者の個人情報(健康状態、罹患情報)などを守るためのセキュリティシステムの開発・維持・改良を行っている企業を選定しました。

夏休み特別企画「高大生のためのオンライン会社見学会」

担当：ながしまゼミ　大八木雄真、免田思乃

1，活動の目的

コロナ禍において、フィールドワークや企業研究が出来なくて困っている高校生や大学生のために、Zoom を活用したオンラインによる会社見学をプロデュースすること。

2，活動の内容

鉄板の時間配分

企業説明　20 分　／　会社見学　45 分　／　若手社員との交流　25 分

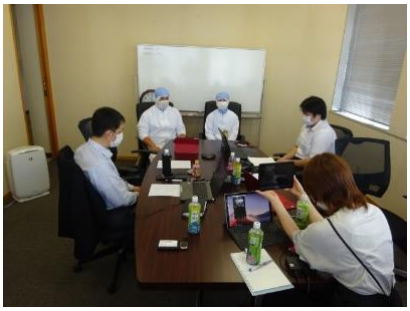
・事前打ち合わせで、開催目的、当日のスケジュールを共有

・企業と学生双方にとって価値ある会社見学会を検討

・当日の設営、司会進行を担当

・社内見学は、社員の方の案内に学生が質問者として同行、その様子を別の学生が撮影

・若手社員との交流では、基本的に入社 5 年以内の社員の方に参加して頂き、司会がオンライン学生からのチャットでの質問を拾いながら対談形式で質疑応答を実施



3，活動実績

・参加企業　8 社

株式会社ミート・コンパニオン（立川市）／加和太建設株式会社（三島市）／京西テクノス株式会社（多摩市）／株式会社コスモテック（立川市）／株式会社YAMABISHI（厚木市）／武陽ガス株式会社（福生市）／株式会社文星閣（大田区）／株式会社茂呂製作所（韮崎市）

・学生・教員　現地 33 名＋オンライン 274 名＝合計 307 名

明治大学奥山ゼミ・明星大学鵜沢ゼミ・多摩地域の高校教員・多摩大学中村ゼミ・ながしまゼミ　他

4，活動後の業務

・学生アンケートの実施

・参加企業へのアンケート実施

・子ども・若者自立支援ネットワーク（立川市役所）での事例発表

・報告書の作成（12 月に完成予定）

5，学びと気づき

・１からプロデュースする楽しさと辛さを実感

・コロナ禍での雇用確保の課題など、中小企業が抱える多様な課題を知ることができた

・経営者や社員の皆さんと一緒に企画することで、社会人基礎力や考え方を学べた

・学生アンケートから、若手社員との交流が好評

・今まで見えなかった、地域の優良企業の魅力を感じることができた

以上

午後の部
001教室
レジュメ集

サブスクリプション

多摩大学目黒高等学校　投資戦略 SG
島村晟玄
金井恭輔
切石左京
中嶋隼矢

はじめに

私たちは去年からこの日経ストックリーグに参加しており、2 年続けて同じテーマでとりくんでいます。継続して学んできたことを生かして、昨年度と今年度のことを比較しながら発表いたします。

選定基準

スクリーニング

- 日本経済新聞などから会社を選定
- 財務評価
- 事業評価

選定した企業

ＮＴＴドコモ	日本テレビ	ソフトバンク	住友商事
スクロール	楽天	伊藤忠	オイシックス
キヤノン	リコー	パナソニック	ビープラッツ
三菱商事	ユーザベース	三井住友ファイナンス	レノボ
Sansan	ベネッセ	エイベックス	カオナビ

「サブスクリプション(以下：サブスク)とは？」

サブスクを利用すると、定額購入でサービスやモノを使う権利を得られる。しかし、ただ定額でお金を払い続けて同じコンテンツをもらう(利用する)なら、買い切りの方が良い。よって、大半のサブスクでは、新たなコンテンツを取り入れ，その強化などを行っている。また、サブスクに類似したものとして様々なレンタルサービスがある。サブスクとレンタルの大きく似ていることはどちらも時間ごとに料金を払うことである。しかし、サブスクには製品やサービスがアップデートされるという違いがある。

「なぜ、サブスクなのか？」

ただの定期購入のシステムなら新聞やガス、電気、電話回線など様々なモノがある。しかし、最近その量は明らかに増えていることは誰もが実感しているであろう。例えば、アマゾンプライム会員や各種音楽配信サービスなどがここ数年出てきた。さらに、最近では SaaS 以外のモノも増えてきている。製造業など、あまりサブスクが採用されてこなかったような業種にも広がってきたことが、サブスクが大きく注目される原因になっている。

・参考文献

サブスクリクション　～モノからコトへ～
島村晟玄、中嶋隼矢、切石左京　　2019 日経 STOCK リーグ　提出レポート

パンデミックのユーラシア史とポストコロナ

2020 年度　インターゼミ　アジアダイナミズム班

2019 年末に中国武漢にて発生した新型コロナウィルス感染症 COVID-19 は、瞬く間に世界に拡散し多くの感染者を出すことになった。感染爆発いわゆるパンデミックの中心は中国から欧州へ移行し、その後アメリカ大陸へ拡大、アフリカ諸国にも到達した。感染爆発直前の 2019 年を振り返ると、グローバル化された世界の中でアメリカと中国の熾烈な覇権争いが生じていた。アメリカは自国第一主義を掲げ、TPP やパリ協定といった多国間協調路線から離脱し二国間関係で有利な交渉を進めようとする。一方の中国は内政において腐敗撲滅を掲げ民意を掌握するとともに、外政では一帯一路構想（The Belt and Road Initiative）やアジアインフラ投資銀行設立（Asian Infrastructure Investment Bank）を掲げ、新たな国際秩序形成への模索を続けた。アメリカと中国のスタンスは、いずれも自国の利益を最大化することにある。これは世界各国にとっても自国利益の最大化に大きな相関がある事態である。トゥキディデスの罠（Thucydides Trap）を想起せずとも、優勝劣敗の行方に世界各国の注目が集まった。

おりしもグローバリゼーションによる人的交流の拡大そして時間的距離の短縮が進み、その潮流の中で新型コロナウィルス感染症が世界へ急速に広まることとなった。そして人体の直接的な生命活動への影響は勿論のこと、生産活動の停止により往来や物流も途絶え、仕事が減少し失業者そして倒産企業が急増し、各国経済は瞬く間に沈没することとなった。ここで各国ではウィルス対策の面で強圧的な抑制策を採るのか自主性に基づく微温的な対応を採るのか判断も分かれた。その判断のいずれが正解であったのか、未だ解答は出ていない。グローバル化された世界の中で、各国間の関係性を改めて認識し、アフターコロナの新たな世界や人々の生活や行動のあり方を考えていくことが求められている。その上でこれまで人類が歩んできた歴史や先人が築いてきた知見や教訓を見つめ直し、腰を深く据えて現代から未来を見つめながら思考を凝らしていくことが必要なのである。

我々、多摩大学社会工学研究会アジアダイナミズム班は過去 3 年にわたってモンゴル帝国の興隆と衰退そしてその周辺国への影響をテーマに研究を続けてきた。特に 13 世紀におけるモンゴル帝国の興隆は、アジアやヨーロッパ、中東に位置する諸国を次々と支配下することで広大なユーラシア大陸をつなげるに至った。交通網を発達させ物流が活発化し人の往来も活発化したことから、世界のグローバル化の始まりとも言われている。この時代を見つめることで我々は少なからず過去グローバル化された世界から現代を対比しながら見つめる視点を得ることができた。

しかも、ユーラシア大陸で一大勢力となったモンゴル帝国は、一方で広大な地域を連結し域間商業を推奨したことにより、土着の強力なウィルスや細菌を他の地域に運搬する多大な影響ももたらしてしまった。その一つが、ヨーロッパや中東に長期間にわたって多大な犠牲者を出し続けた黒死病いわゆるペストである。短絡した世界で未知の病原体と向き合ったこと、またその病原体を前に人々の思考や行動が変容していったこと、これは 13 世紀以降の当時と現代とで多くの共通点を見いだすことができる。以上を鑑み、我々は中世の黒死病（ペスト）の感染爆発いわゆるパンデミックと向き合い、その上で現代との対比を行い、その影響を見つめることによって、アフターコロナ、ウィズコロナ時代の人間のあり方に関する考察を試みたいと考えている。

テーマ構成

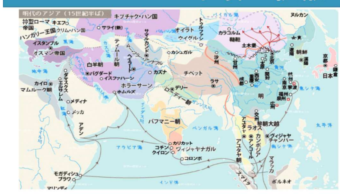
1章	モンゴル帝国とパンデミック（半田）
2章	欧州のパンデミック（北山・三田・小出・池田）
3章	パンデミックの日本への影響（光永・山内・柳沢）
4章	現代的意義とポストコロナ（塚原・和泉）

4

アジア・ユーラシアを横断したペスト

「900～1200年にユーラシア陸路海路にて東西交流が進む。
モンゴル帝国最盛期1279-1350年は長距離移動の隊商や軍隊などが往来する1大交通網が完成
1331年中国から1347年クリミア、そこから船でヨーロッパと中東のほとんど全ての地域に侵入」

世界に拡散したペスト



ドイツのMichael Wolgemut（1434-1519）、1493年作「Tanz der Gerippe」（死の舞踏）

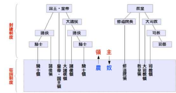
13～14世紀…疫病の時代（モンゴルとその後）

15世紀　……祈っても神は助けず
→　科学による神学の乗り越え（ルネサンス）
→　人口減を補う技術開発（産業革命の萌芽）

10

ペストによる人口減少と社会への影響

・14世紀の欧州は封建社会であった
・この封建社会を支えていたのが、「封建制度」と　「荘園制度」であり、力関係は領主＞農奴であった



出所：クリエイティブ・コモンズ「表示-継承（CC BY-SA）

・ペストによる死者数は、様々な数値が記載されているが、下記図を平均すると3,500万人、死亡率は40%程度であり、多くの人が亡くなったことがわかる

	総人口	死亡者数	死亡率
ゴットフリート	―	―	25～45%
ベネディクトヴ	約8,000万人	約5,000万人	62.50%
J・C・ラッスル	約7,350万人	約2350万人	32%

出所：ペストの歴史　宮崎 揚弘（P.96より作成）

・黒死病から生き残った人々へ資産移転(相続)が発生
・贅沢を堪能し、消費が増加
・物価高・人手不足・高賃金を誘発
・農奴を支配していた領主一族が消滅するという事態が発生
・また、人口減少に伴い、労働力不足が生じ、農奴の地位は向上

封建制度・荘園制度の崩壊

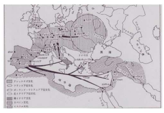
ペスト後の欧州人の心性変容とユダヤ人虐待

欧州人の心性変容

12・13世紀	1347年～ ペスト（黒死病）の時代	ペスト（黒死病）以後
温暖な気候	凶作・虫害による飢饉 大地震・雪害 ⇩	内省 ⇩
農地拡大 ⇩ 人口増加 都市建設	ペスト発生 ⇩	鞭打ち修行僧 宗教私物化
余剰生産 ↓ 交易活性化	心性の変容 ⇩ ペスト＝神罰 神は慈愛⇒畏れの対象 mement mori（死を想え）	排他 ⇩ 他者迫害（障碍者・ユダヤ人 異端審問所）

ペストの爆発的な感染力と高い致死率
⇩
神による罰《温厚な神から峻厳な神へ》
⇩
教会では救いを得ることができない
⇩
宗教の私物化、現実逃避

14世紀のユダヤ文化圏



出典：黒川知文『ユダヤ人迫害史』

ペスト期のユダヤ人迫害

ユダヤ人迫害
- ゲットーでの集住
- 神の怒りを鎮めるいけにえ
- 教会・王権が迫害を許容
- 神を殺した罪人

欧州各地での追放、ルーマニア・ウクライナへの移住
⇩
迫害が無実化（金貸しだから殺された）
⇩
迫害が許容されたまま後世へ

16

宗教・民族のもたらす分断

ユダヤ人の経済力への嫉妬

ユダヤ教への違和感とキリスト殺しへの敵意

民族意識の高揚に伴う異人種攻撃

権力掌握・他者への敵意高揚のための政治的利用

民衆の現状への不満に対する身代わりの羊

関東大震災における朝鮮人虐殺

第二次大戦中のアジアでの日本語教育、天皇拝礼の強制

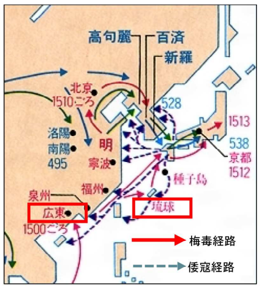
アイヌ文化、琉球文化の損壊

人は有事にあたり他責により自己安定を図る⇒常に歴史は繰り返されている

有事の時こそ、学んだ歴史から今の自分が置かれた状況を認容し、他者を受容することの大切さ、相手も人であるという当たり前のことに想いを馳せることが重要となるであろう

19

16世紀の貿易と「梅毒」の伝播（14世紀ペストと違い日本に流入）



出所：小学館　日本大百科全書（ニッポニカ）

梅毒の感染ルート
1493年～　スペイン・イタリアから
　ヨーロッパに拡大
1498年～　インド⇒インドネシア
1505年～　広東から中国(明)に拡大

後期倭寇が運んだ梅毒
漢人・ポルトガル人・日本人（3割）

「中国ルート」と「琉球ルート」から
1512年～　日本に拡大：貿易ルート

17世紀～ 4つの口（琉球・長崎・対馬・蝦夷）
感染症流入（天然痘・マラリア・麻疹）

地政学的視野から見た日本における感染症～フィールドワークより～

19世紀以前

①遊牧民の影響を受けない第一地域（日本・西ヨーロッパ）
⇔影響を受ける第二地域（ユーラシア大陸）
②ユーラシアの「疫病の貯水池」と一定の距離

出所：世界の歴史まっぷ・筆者撮影

19世紀以降

開港による感染症流入
①近代医療技術の発展
②科学技術の発展
③公衆衛生の環境整備
④国民の衛生意識

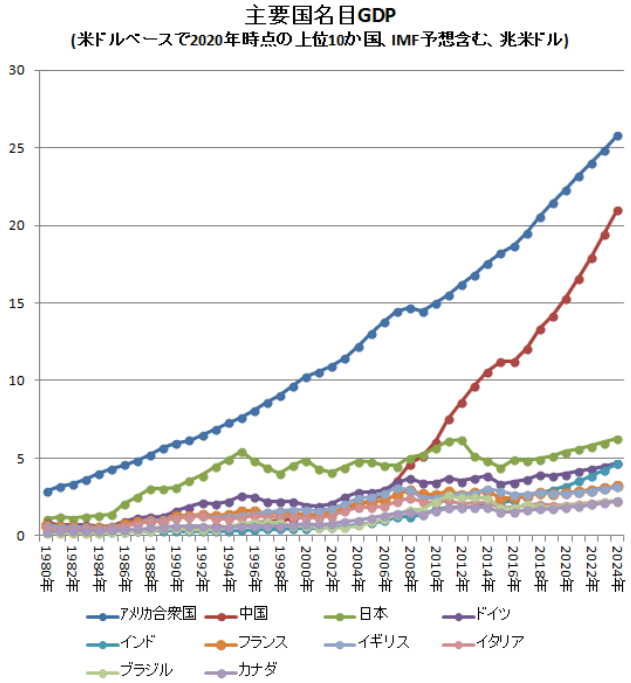
ユーラシア大陸からの感染症をコントロール

脇村教授（大阪経済法科大学）

海外投資から見たアメリカの産業と日本の今後

水盛ゼミナール 2020 年度アメリカ大陸班

日本はかつて世界一の商業国家として名を馳せていた。ヴォーゲル（Ezra Feivel Vogel）は 1997 年に『日本第一：アメリカへの教訓』（Japan as Number One: Lessons for America）を出版し、停滞するアメリカへ警鐘を鳴らしている。その中で日本資本（Japan Money）による「アメリカ買い」も進み、三菱地所がロックフェラーセンターを、またソニーがコロンビア映画を、そして安田火災海上がゴッホ作「ひまわり」を買い、アメリカでのジャパンバッシング（Japan bashing）に「燃料」を加えたのであった。とはいえ、バブル景気が破裂し、その後の経済政策にも失敗し、「失われた十年」（Lost Decade、今はそれが「失われた二十年」lost twenty years、「失われた三十年」lost thirty years などと延長して呼称されている）が到来すると、日本企業の体力は失われ、リストラ（restructuring）の嵐が吹き荒れたために企業人材のモチベーションやポテンシャルも下降していった。



ちょうどその頃にはアメリカが IT 技術を中心として経済回復を遂げ、また中華人民共和国の伸張もめざましく、2010 年には日本を抜いて国内総生産世界第 2 位となり、現在は日本の 4 倍弱にまで成長したのであった。日本の「ナンバーワン」であった時代が過ぎ去ったからこそ、外国企業に学び、国際協調路線のなか、グローバルビジネスを推進しつつ、日本のビジネスを強化していく必要があるのである。

もちろん日本の企業もまた年々成長しているものの、世界の企業間競争は激化している。しかも物流網の整備により、世界はより身近になっている。サプライチェーン（Supply Chain）とは、製品の原材料・部品の調達から、製造、在庫管理、配送、販売、消費までの全体的な一連の仕組みであるが、多くの日本企業にとっても、このサプライチェーンは世界に広がるものとなっている。また、自由貿易圏（Free Trade Area）の整備により、自国の産業を護る「関税障壁」（Tariff Barriers）も消失しつつある。すなわち、他国の企業が重要な競争相手にも協力提携先にもなりえる時代となったのである。今般こそ新型コロナウィルス感染症 COVID-19 のため各国の経済的連携は薄れているが、ワクチンが完成する来年そして再来年の状況を鑑みれば、今まで以上に外国企業の動向への注視が必要となっている。そこで本班は主にアメリカ合衆国の現況に鑑み、国制、成長率、教育レベル、犯罪率、そして今後有望な業種などに目をむけ、日本企業による海外投資の一環という立場にたって国際経済を分析していくものである。

①その国の体制

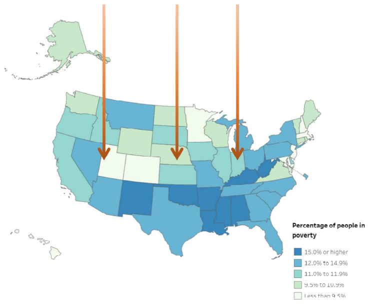
参考文献：1.2.3.4.5

	大統領（最高権力者）	内政状況	国土	人口	議員数
アメリカ	ドナルド・トランプ	2017年1月，トランプ第45代米国大統領が就任。「米国第一主義」，「米国を再び偉大にする」との方針の下，移民制度改革や税制改革，インフラ投資等を通じた強い経済の実現等に取り組んでいる	962.8万平方キロメートル	3億2775万人	二院制 上院：100人 下院：435人
カナダ	ジャスティン・トルドー	第１次トルドー内閣2015年11月4日発足、第２次トルドー内閣2019年11月20日改造 第二次トルドー政権では， 首相を除く閣僚36名のうち女性が18名と半数を占めており，女性の社会進出を支援する現政権の姿勢が色濃く反映されている	998.5万平方キロメートル	3,789万人	二院制 上院105人 下院338人
メキシコ	アンドレス・マヌエル・ロペス・オブラドール	メキシコ革命の動乱が終結した1920年以降クーデターがなく，政情は安定。 2018年7月1日に実施された大統領選挙で当選した。	196万平方キロメートル	1億2619万人	二院制 上院：128人 下院：500人
ロシア	プーチン・ウラジーミル・ウラジーミロヴィチ	第1-2期プーチン政権（2000年5月～2008年5月） メドヴェージェフ政権（2008年5月～2012年5月） 第3期プーチン政権（2012年5月～）	約1,710万平方キロメートル	1億4,680万人	二院制 連邦院：各連邦構成主体から2名ずつ 国家院：450人

②アメリカの犯罪(2018年)

暴行	強姦	強盗	殺人
1,252,399件 383.4/10万人	281,278件 86.１/10万人	143,765件 44.0/10万人	16,374件 5.0/10万人

アメリカの貧困率



南にいくほど貧富の地域の割合が高くなっている。
そして南に比べると北の方が裕福な地域が多い。

③主要産業・資源

産業

IT・テクノロジー　世界最大**33%**　世界全体5兆ドルのうち約1.6兆ドルに相当

ヘルスケア・医薬品　世界医薬品市場の**45%以上**を占める
（世界全体収益約1.3兆ドル・世界売上上位10社のうち5社が米企業）

エネルギー　**石油**（世界生産・シェア**1位**19%）**天然ガス**（世界生産**1位**）
（2018～2019生産9%増・輸出8位）　（世界全体の約60%・輸出4位）

資源

石油　シェールオイル（頁岩油）採掘に適した**地形**、既存の**パイプライン**
材木　森林地帯がアメリカの土地面積の約3分の1　アクセスの良さ
農作物　国土面積の40%が農地　（トウモロコシ、綿、フルーツ、他）

ALISON L. DEUTSCH 「The 5 Industries Driving the U.S. Economy」Investopedia 2020年10月6日 / CompTIA「IT INDUSTRY OUTLOOK 2020」CompTIA 2019年11月
Biz Vibe「Top 10 Largest Pharmaceutical Companies in the World by Revenue 2020, Pharmaceutical Industry Factsheet」Biz Vibe 2020年4月 / SELECT USA（GOV）「ABUNDANT RESOURCES」SELECT USA 2020年
アンヘル・キリアン「World's biggest oil producers」IG 2020年6月25日 / USDA Economic Research Service（ERS）「POWER OF 10. TOP 10 PRODUCE CROPS IN THE U.S.」AGAMERICA LENDING 2017年3月10日

アメリカの大きな企業

（収益）
1位 **Walmart**（5420億ドル）
2位 **Amazon**（3218億ドル）
3位 **Apple**（2739億ドル）

周辺3か国の主要企業

メキシコ企業
Walmart de México（小売）
アメリカ・モービル（電気通信）
フォーメントエコノミコ・メキシカーノ（小売）

カナダ企業
カナダロイヤル銀行（金融）
トロントドミニオン銀行（金融）
Enbridge（エネルギー産業）

キューバ企業
HABANOS S.A（タバコ）
BIOCUBAFARMA（製薬）
HAVANA CLUB（ラム酒）

NATHAN REIFF「10 Biggest Companies in the World」Investopedia 2020年9月11日
トロント証券取引所 TSX index「Top 30 companies of Canada in the TSX index 2020」DISFOLD 2020年8月3日 / メキシコ証券取引所 IPC index「Top 35 companies of Mexico in the IPC index 2019」DISFOLD 2020年7月1日
Miguel Ernesto 「The Five Most Popular Cuban Companies Worldwide」ANAMERICANWORLD 2016年

ホワイトカラーの数

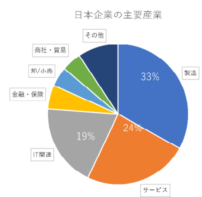
- **米国（2019年時点）**
  - 十六歳以上男女合計にて
  - 1億5753万8千人

アメリカ労働統計局　人口動態調査からの労働力統計
https://www.bls.gov/cps/demographics.htm

- **隣国**
  - カナダ
    1千5百十万2千人（15歳以上男女）
  - メキシコ
    31388453人（15歳以上）

カナダ統計局　産業別の労働力特性
https://www150.statcan.gc.ca/t1/tbl1/en/tv.action?pid=1410002301
INEGI 国立統計地理情報院　職業　経済活動のセクターに応じた雇用人口
https://www.inegi.org.mx/app/tabulados/default.html?nc=597

日本の主な進出企業



製造業：**トヨタ自動車**
・2016年に研究機関TRIを設立、
　自動運転・電気自動車の研究・開発を開始
・米国のスタートアップと連携し知名度の底上げを図る

‣コロナの影響
　・主に製造業の売り上げが減少
　・受注減、従業員不足、稼働率の低下

サービス業：**メルカリ**
・2014年に米国進出、
　3年間で国内累計2,500万ダウンロード達成
・もともと赤字だったが、ロックダウン後に売り上げ急増

⑦今後伸びそうな分野＆投資価値

ヘルスケアと社会扶助部門は最も新しい仕事が追加されると予測されており、最も急成長している10のうち6つの分野はヘルスケアに関連しています。

10の急成長する職業、プロジェクト2019~29

米国労働統計局　調査　chart1　https://www.bls.gov/news.release/pdf/ecopro.pdf

スポーツにおける価値創造とビジネスへの視点

佐藤（文）平ゼミ
石橋佳奈、大橋崚翼
清水直樹、三村恭輝
蒲地秀、柳原孝紀
高田和真、高橋哲平

発表コンセプト

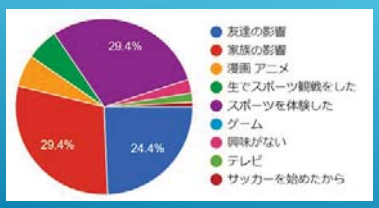
現状のスポーツビジネスを理解することで、これからのスポーツ界における視界を明瞭にし、今、何が求められているのかを理解できる視点を持てるようになる。

発表内容

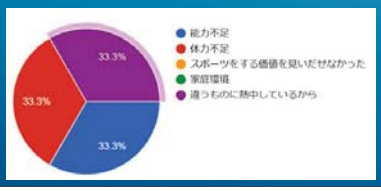
スポーツ界が行っている収益構造、マーケティング・広報戦略を調査・研究し、現状把握と発展のための示唆を行なう。

はじめに

スポーツに興味を持った理由（対象：多摩大生119名）



スポーツに興味を持たなかった理由（対象：多摩大生119名）



スポーツ界の主な収益構造

（1）スポンサー・広告収入
（2）ファンからのチケット・グッズ収入
（3）放映権収入
（4）大会賞金

の4つで構成される。

Jリーグの一例（内訳）

スポンサー	チケット	グッズ	放映権
J1：約45%	J1：約17%	J1：約 9%	Jリーグ分配金として成績等によって分配
J2：約53%	J2：約13%	J2：約 6%	
J3：約54%	J3：約 7%	J3：約 5%	

スポーツ界の現状（マーケティング戦略）

サッカー、野球などメジャースポーツにおけるスポンサー収益、観客動員数確保や、ファン獲得に向けての戦略はいかに？

スポーツ界の現状（マーケティング戦略）

入場料収益をとらないスポーツでは、どのような収益確保の工夫、特徴的な戦略が行われているのか？

コロナ禍におけるe-SPORTSの力

eスポーツでの対戦は非接触型であるため、コロナ禍において需要がさらに高まった。スポーツ界では、e-sportsはスポーツか？という議論の真っ只中である。

懸念されていること

選手たちが「首、背中、上肢などの筋骨格系の外傷」を負う可能性が高くなると指摘するとともに、ゲーム依存症や社会的行動障害をめぐる懸念についても警告している。

米オステオパシー協会（American Osteopathic Association）

まとめ

メジャースポーツ（サッカーや野球）

- スポンサー収入、観客動員における会場収入などが大きな収入となっており、ユニホームや場内看板などに企業ロゴを入れるために発生する収益でクラブ運営などがされていた。

入場料収益のないスポーツ

- 選手個人に対して、企業から競技ができる環境や道具を提供していることが多い。メジャースポーツとは違い、個人での活動が主であるため、収入を得る仕組みも異なるものであった。

e-sportsの需要

- 爆発的に伸びているe-sports市場ではあるが、五輪に参入する試みは、難航している。その理由としては、競合する企業間にまとまりがないこと、ゲームの性質が頻繁に変化すること、そして何よりも『ゲームをスポーツの一種と見なせるかどうか』をめぐる根本的な問題などが挙げられている。

コロナによって、現場で応援することが制限され、スポーツ界は大きな変革を求められる時代となった。

今後は2021年東京オリンピックの開催も含め、５Gの導入を積極活用した、非接触型による観戦・触れ合い（コンテンツ）の促進、eスポーツを活用したエンターテイメントとしての多様化が求められる。

ご清聴ありがとうございました。

Intersemi 2020

2020年度インターゼミ
デジタルトランスフォーメーション班

DX班AL祭

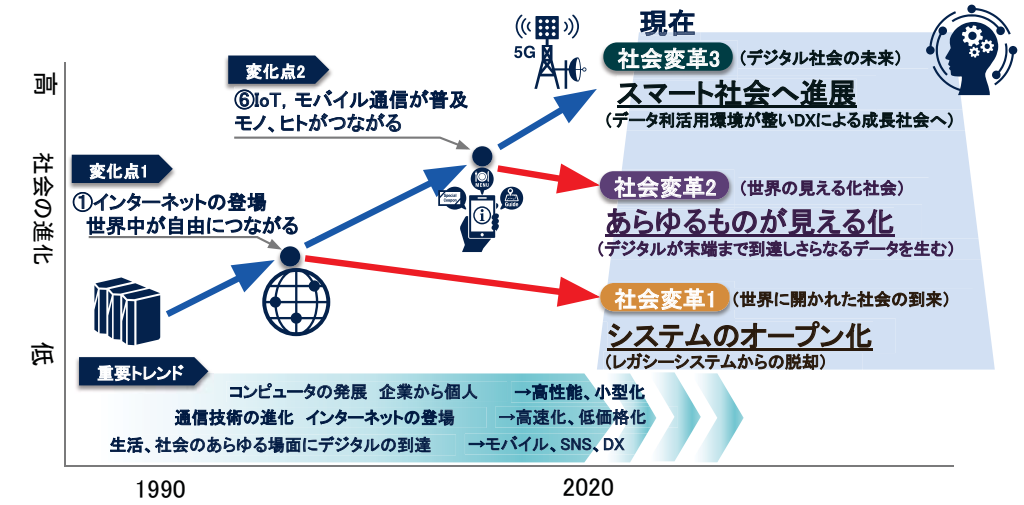
December 12, 2020

指導教員　:佐藤、崎濱
修了生　　:追分、川合
大学院生　:山中
学部生　　:市川、柳萬、中島、一杉、大内、佐保、坂本、田中

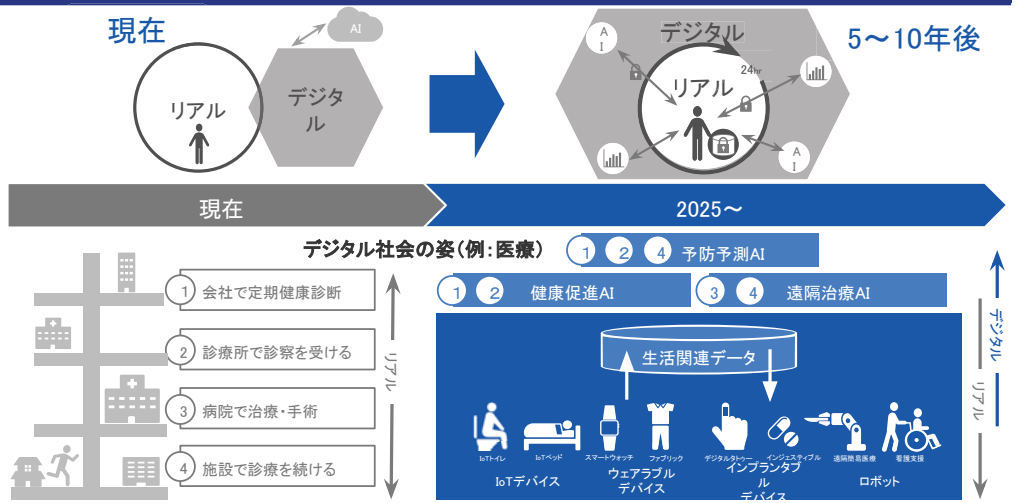
目次

1.コンピュータと通信の歴史
2.DX(Digital Transformation)の本質
3.人でしかできない仕事とは～RPA
4.5Gによるイノベーション
5.製造業におけるDXイノベーション
6.教育産業におけるDXイノベーション
7.スポーツにおけるDXイノベーション
8.医療におけるDXイノベーション
9.まとめ

1. コンピュータと通信の歴史（社会の進化）



1. オフラインのない世界の到来（未来の社会）



3.人でしかできない仕事とは～RPA

・RPAの性質➡PC上で人間が手作業で行っていた作業を自動化する

企業の導入事例 【株式会社コマイ】

2019年11月に株式会社ユーザックシステムのRPAサービス「Autoジョブ名人」を導入

受注業務に使用している ERP パッケージ「SMILE」に仕入先のデータを入力を自動化

実働7時間のうち4時間分に相当する煩雑な仕入れ業務を自動化することに成功

発注する部材数を自動集計し、RPAがデータを取得しやすい体裁にまとめるExcelシートを従業員の手によって作成。RPAの導入によって必要な新しい業務が確立されている。

RPAと人間が互いに役割を持ち「RPAに任せる段取り」を確立させている。

RPAを基盤とした対象業務を広げる活動

同社の今後の目標

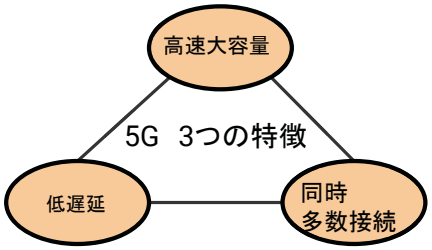
「RPAによって増えた内業務をこなす人材を増やすのではなく次の事業の柱を企画する人材を育てていく」

・次なるヒット商品を開発するための人材育成
・web、Excel、マクロ関係のメンバーによる自社 RPA開発
・

45Gによる日常生活の変化

起きると同時に服に仕込まれたセンサーで体温が計測される。またこれらの情報をもとに体調を管理。

送れるデータ量が増えるため、オンラインイベントの内容がリッチ化



遠隔操作で車や機械の操作が可能

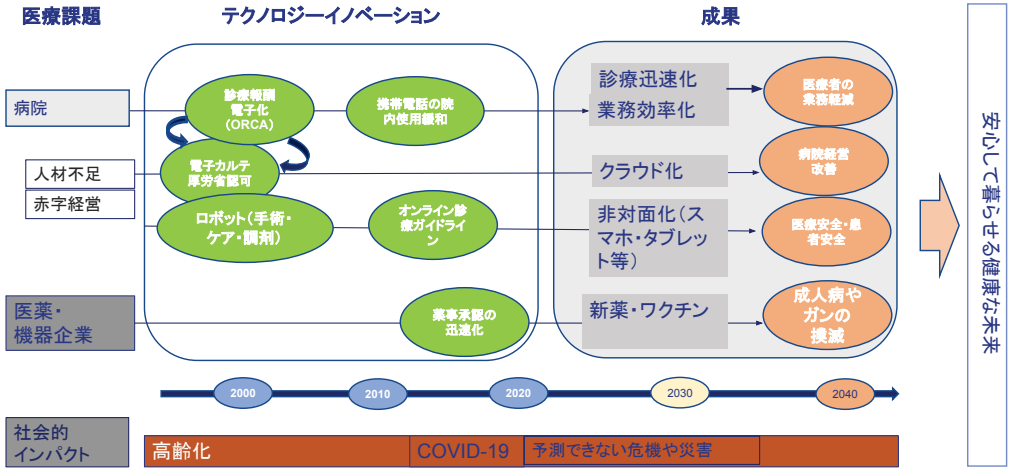
遠隔操作

無人・自動運転によるバスなどの多頻度運転。

デバイス同士での連携に遅れが出ないため、精密な作業も可能に。

全てを5G規格で揃えた場合なので5G対応の基地局の整備が課題。

8 《医療におけるDXイノベーション》



飛騨高山アクティブ・ラーニングプログラム 地域観光研究

スキー場で新たな価値を提供する

～スマート・ベニュー構想で滑る場所から集まる場所へ～

飛騨高山 AL プログラム スキー場活性化グループ B
3 年：佐保 尚寿
2 年：藤田 功希
1 年：伊藤 主野
1 年： 王 旭森

■ **プログラムの主な内容**

実施日時

春学期：6 月 21 日、7 月 19 日

秋学期：10 月 23 日、11 月 8 日～11 月 10 日

内容

岐阜県高山市における新たな商品開発に関する意見提案（A 会場 11:50~から発表）

岐阜県高山市 久々野地域にあるスキー場の再活性化に関する意見提案

現地でのプレゼンテーションの様子

意見交換の様子

スキー場の視察

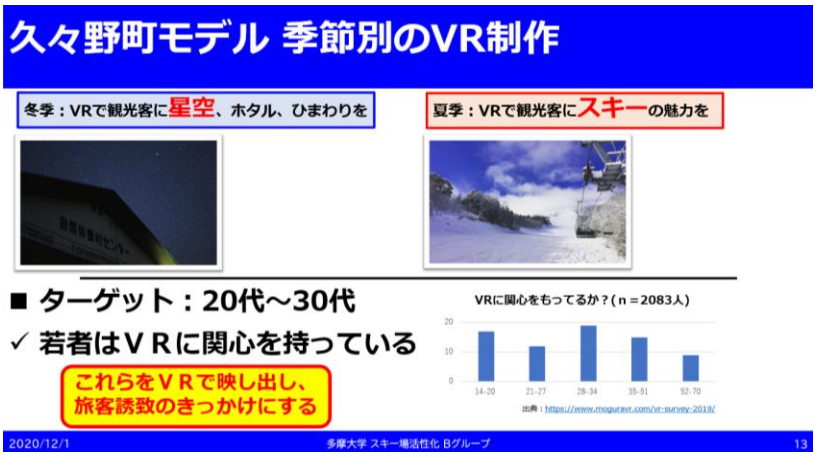
■　本グループが提案した主な内容

1.　スキー場の夏季シーズンの活用を推進するためのスマート・ベニュー化町田グランベリーモール、パナソニックスタジアム吹田、楽天生命パーク宮城を始めとする「多機能複合型施設」をモデルにした、スキー以外での利活用方法に関する提案。

2.　高山市、下呂市を中心としたサイクルツーリズムをベースとした新たな観光手段についての提案。

実際に提案したコース概要の一部

3.　夏季以外でのスキー体験を推進する VR を用いた新規事業についての提案。冬季では味わえない「VR ならでは」の景色について提案した。



実際に提案した資料の一部

■　今回のプログラムでの学び

今年度は、春・秋で共通の提案を行うものとなり、昨年度までに比べて提案回数を重ねるごとにより実現性が高く、評価の高い発表を行うことが出来た。特にサイクルツーリズムの提案に関しては、現地の方々との意見交換の回数、現地視察に注力を置いたことでより実現性の高い提案となった。今回の学びをプログラムのみのものとせず、学内外での活動に活用していけるようにしたい。

第 12 回 多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭

アンケートご協力のお願い

本日はご来学いただきありがとうございました。

ご多用のところ大変恐縮ですが、

アンケートへのご協力をお願い致します。

▼WEB アンケート回答フォーム

https://bit.ly/39I3kLU

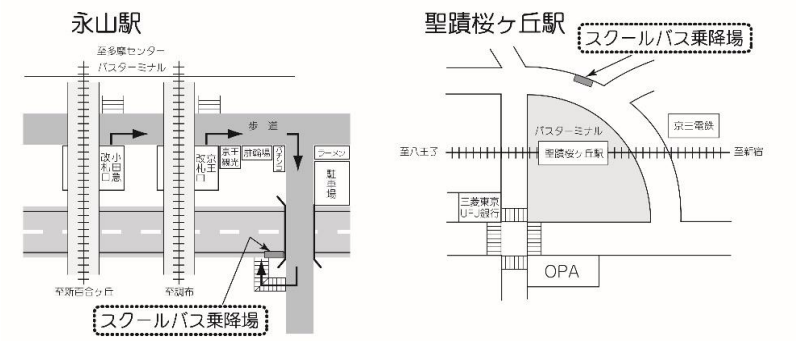
スクールバス 時刻表 （R2.12.12）

土 曜 日

聖蹟桜ヶ丘駅 発	永 山 駅 発		中学･高校、大学 発	
中学･高校、大学 行			永 山 駅 行	聖蹟桜ヶ丘駅 行
		7		
	20 ※50 ※50	8		
55	※00 ※00 15	9		
	10	10		
		11		
40	35	12	※◎15 ※15 ※25 ※25	
	※20 ※20 ※30 40	13		
	15	14	40	40
		15	※55 ※55	
		16	※0 0 ◎25	
		17		
		18		

黒字が授業用、赤字がAL祭用　※多摩大学目黒中学校･高等学校専用
◎は永山経由聖蹟桜ヶ丘行

※ スクールバスは定員になり次第、発車します(定刻前に発車する場合があります)。
※ 道路事情、運行状況等により、上記時刻は変更になる場合があります。
※ 日曜、祝日、夏期休業等の長期休業期間、その他学校が定めた日は運休となります。
※ 所要時間は、学校⇔永山駅　片道約10分、学校⇔聖蹟桜ヶ丘駅　片道約15分の予定です。ただし永山駅経由は片道約30分となります。



整列乗車および乗降場周辺の環境整備にご協力をお願いします。

H30.4.1改正

【多摩キャンパス構内のご案内】

＜多摩大学へのアクセス＞

【電車利用案内】

◎　京王線新宿駅～聖蹟桜ヶ丘駅の所要時間→特急 23 分
◎　京王線新宿駅～京王永山駅の所要時間→特急・急行乗り継ぎ 23 分
◎　小田急線新宿駅～小田急永山駅の所要時間→代々木上原乗り換え多摩急行利用 33 分

【バス利用案内】

◎　小田急線・京王線永山駅バス乗り場 2 番「系統永 34 聖ヶ丘団地行」
　「系統桜 06 聖蹟桜ヶ丘駅行」（12 分）、「多摩大学」下車
◎　京王線聖蹟桜ヶ丘駅バス乗り場 12 番「系統桜 06 永山駅行」（18 分）「多摩大学」下車

《永山駅→多摩大学》

8	05, 15, 29, 49
9	09, 29, 49
10	09, 29, 49
11	09, 29, 45
12	00, 15, 30, 45
13	00, 15, 30, 45
14	00, 15, 30, 45
15	00, 15, 30, 45
16	00, 12, 24, 36, 48
17	00, 12, 24, 36, 48

《聖蹟桜ヶ丘駅→多摩大学》

8	02, 14, 26, 40, 52
9	12, 32, 52
10	12, 32, 52
11	12, 23, 32, 52
12	10, 25, 40, 55
13	10, 25, 40, 55
14	10, 25, 40, 55
15	12, 27, 42, 57
16	12, 27, 42, 54
17	06, 18, 30, 42, 54

＜お帰りのバス時刻表＞

《多摩大学→永山駅》

12	07, 25, 40, 55
13	10, 26, 41, 56
14	11, 26, 41, 56
15	11, 28, 43, 58
16	13, 28, 43, 58
17	10, 22, 34, 46, 59
18	11, 23, 35, 45, 57
19	09, 21, 33, 45, 57
20	09, 21, 33, 45, 57
21	09, 20, 30, 40, 50

《多摩大学→聖蹟桜ヶ丘駅》

12	11, 26, 41, 56
13	11, 26, 41, 56
14	11, 26, 41, 56
15	11, 26, 41, 56
16	11, 23, 35, 47, 59
17	11, 23, 35, 47, 59
18	11, 23, 35, 47, 59
19	11, 23, 35, 47, 59
20	11, 23, 35, 47, 59
21	09, 17, 29, 37, 52, 57

多摩大学　教務課
〒206-0022　東京都多摩市聖ヶ丘 4-1-1
TEL　042-337-7113
FAX　042-337-7100